

群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第168集
関越自動車道(上越線)地域埋蔵文化財発掘調査報告書第22集

南蛇井増光寺遺跡Ⅲ

B区・古墳・奈良・平安時代
(観察表編)

1 9 9 4

群 馬 県 教 育 委 員 会
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
日 本 道 路 公 団

叻群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第168集
関越自動車道(上越線)地域埋蔵文化財発掘調査報告書第22集

南蛇井増光寺遺跡Ⅲ

B区・古墳・奈良・平安時代
(観察表編)

1 9 9 4

群馬県教育委員会
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
日本道路公団

觀察表目次

1 住居跡出土遺物		B-46号住居跡出土遺物	15
B-1号住居跡出土遺物	1	B-47号住居跡出土遺物	16
B-2号住居跡出土遺物	1	B-49号住居跡出土遺物	16
B-3号住居跡出土遺物	1	B-50号住居跡出土遺物	16~17
B-4A号住居跡出土遺物	2	B-52号住居跡出土遺物	17
B-4B号住居跡出土遺物	2	B-53号住居跡出土遺物	17
B-6号住居跡出土遺物	2~3	B-54号住居跡出土遺物	18
B-7号住居跡出土遺物	3~4	B-55号住居跡出土遺物	18
B-8号住居跡出土遺物	4	B-56号住居跡出土遺物	18~19
B-10号住居跡出土遺物	4	B-57号住居跡出土遺物	19
B-12号住居跡出土遺物	4~5	B-58号住居跡出土遺物	20
B-13号住居跡出土遺物	5	B-64号住居跡出土遺物	21
B-14号住居跡出土遺物	5~6	B-65号住居跡出土遺物	21
B-15号住居跡出土遺物	6	B-66号住居跡出土遺物	21
B-16号住居跡出土遺物	6	B-67号住居跡出土遺物	21~22
B-17号住居跡出土遺物	6~7	B-68号住居跡出土遺物	22
B-18号住居跡出土遺物	8	B-69号住居跡出土遺物	22~23
B-19号住居跡出土遺物	8	B-70号住居跡出土遺物	23~24
B-20号住居跡出土遺物	8	B-71号住居跡出土遺物	24
B-24号住居跡出土遺物	8~9	B-72号住居跡出土遺物	24
B-25号住居跡出土遺物	9~10	B-73号住居跡出土遺物	24
B-26号住居跡出土遺物	10	B-74号住居跡出土遺物	24~25
B-27号住居跡出土遺物	10~11	B-76号住居跡出土遺物	25
B-30号住居跡出土遺物	11	B-78号住居跡出土遺物	25
B-34号住居跡出土遺物	12	B-80号住居跡出土遺物	25~26
B-37号住居跡出土遺物	12~13	B-81号住居跡出土遺物	26~27
B-38号住居跡出土遺物	13	B-82号住居跡出土遺物	27
B-40号住居跡出土遺物	13	B-83号住居跡出土遺物	27~28
B-41号住居跡出土遺物	13~14	B-84号住居跡出土遺物	28
B-42号住居跡出土遺物	14	B-88号住居跡出土遺物	29
B-44号住居跡出土遺物	14	B-89号住居跡出土遺物	29
B-45号住居跡出土遺物	15	B-91号住居跡出土遺物	29

B-92号住居跡出土遺物	29~30	B-152号住居跡出土遺物	46
B-93号住居跡出土遺物	30	B-153号住居跡出土遺物	46
B-95号住居跡出土遺物	30	B-154号住居跡出土遺物	47
B-100号住居跡出土遺物	30	B-155号住居跡出土遺物	47
B-102号住居跡出土遺物	31	B-156号住居跡出土遺物	47~48
B-103号住居跡出土遺物	31	B-157号住居跡出土遺物	48~49
B-109号住居跡出土遺物	31~32	B-158号住居跡出土遺物	49
B-110号住居跡出土遺物	32	B-159号住居跡出土遺物	49
B-117号住居跡出土遺物	32~33	B-160号住居跡出土遺物	49
B-125号住居跡出土遺物	33	B-163号住居跡出土遺物	50
B-126号住居跡出土遺物	33	B-165号住居跡出土遺物	51
B-127号住居跡出土遺物	34	B-167号住居跡出土遺物	51
B-128号住居跡出土遺物	34	B-169号住居跡出土遺物	51
B-129号住居跡出土遺物	34~35	B-170号住居跡出土遺物	52
B-130号住居跡出土遺物	35	B-171号住居跡出土遺物	52
B-131号住居跡出土遺物	35	B-172号住居跡出土遺物	52
B-133号住居跡出土遺物	35	B-173号住居跡出土遺物	52
B-134号住居跡出土遺物	36	B-175号住居跡出土遺物	53
B-135号住居跡出土遺物	36	B-176号住居跡出土遺物	53~54
B-136号住居跡出土遺物	36	B-177号住居跡出土遺物	54
B-137号住居跡出土遺物	37	B-180号住居跡出土遺物	55
B-138号住居跡出土遺物	37~38	B-182号住居跡出土遺物	55
B-139号住居跡出土遺物	38		
B-140号住居跡出土遺物	39	2 掘立柱建物跡出土遺物	
B-141号住居跡出土遺物	39~40	B-2号掘立柱建物跡出土遺物	56
B-142号住居跡出土遺物	40~41	B-5号掘立柱建物跡出土遺物	56
B-143号住居跡出土遺物	41		
B-144号住居跡出土遺物	41~42	3 土坑・集石出土遺物	
B-145号住居跡出土遺物	42~43	B-24号土坑出土遺物	56
B-146号住居跡出土遺物	43~44	B-25号土坑出土遺物	56
B-147号住居跡出土遺物	44	B-11号土坑出土遺物	56~57
B-148号住居跡出土遺物	44	B-13号土坑出土遺物	57
B-149号住居跡出土遺物	44~45	B-20号土坑出土遺物	57
B-150号住居跡出土遺物	45	B-26号土坑出土遺物	57~58
B-151号住居跡出土遺物	45~46	B-2号集石出土遺物	58
		4 グリッド出土遺物	58~60

1 住居跡出土遺物観察表

B-1号住居出土遺物観察表(第6図 P L.67)

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土 師 器 環	床密着 口縁部写 欠	口(13.6) 底 11.6 高 3.7	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③によい橙色	底部は平底。口縁部は僅かに外傾する。口縁部は内外面横ナデ。底部外面へラ削り、内面へラナデ。	
2	土 師 器 環	覆土 写	口(12.8) 底 — 高 4.5	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③によい橙色	丸底を呈する。口縁部は外傾する。外縁は明瞭。口縁部は内外面横ナデ。体部外面へラ削り、内面指頭凹痕。	
3	土 師 器 環	+17cm 写	口(12.3) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	丸底を呈する。口縁部は外傾し、外縁は明瞭。口縁部は内外面横ナデ。外面は体部との境で棒状工具による強い押さえ。体部外面へラ削り。	
4	土 師 器 環	覆土 写	口(13.0) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③によい橙色	口縁部は内湾する。口縁部外面横ナデ。体部へ底部外面へラ削り。内面は口縁部へ体部横ナデ後へラ磨き。	
5	須 恵 器 環	+13cm 写	口(12.6) 底 — 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③褐色	口縁部は短く、内傾する。ロクロ成形。口縁部は横ナデ。	
6	土 師 器 壺	+3cm 口縁一部 削部写	口(22.0) 底 — 高 —	①白色粗砂粒を含む。 ②酸化焰、普通 ③明赤褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。口縁部へ頸部の外面にへラあて痕、以下へラ削り。胴部内面へラナデ。	

B-2号住居出土遺物観察表(第7図)

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土 師 器 環	覆土 写	口(13.6) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	体部は内湾する。内外面とも器面の荒れが著しい。	

B-3号住居出土遺物観察表(第10図 P L.67)

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須 恵 器 高台付埴 壇	ピット内 -10cm ほぼ完形	口 16.7 底 5.8 高 7.9	①緻密 ②酸化焰、良好 ③橙色	体部は内湾し、口縁部は短く外反する。ロクロ成形。右回転。高台貼付。口縁部は内外面横ナデ。体部内面ロクロ成形後へラ磨き。	
2	須 恵 器 高台付埴 壇	壺内 +6cm 体へ底部	口 — 底 6.0 高 —	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③によい橙色	ロクロ成形。高台貼付。体部内面ロクロ成形後へラ磨き。	
3	須 恵 器 埴 壇	壺内 +2cm 口へ体部	口(13.5) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	体部は内湾し、口縁部は短く外反する。ロクロ成形。体部内面ロクロ成形後へラ磨き。	
4	須 恵 器 小 型 埴 壇	ピット内 -8cm 写	口(9.1) 底(5.0) 高 2.4	①緻密 ②酸化焰、良好 ③橙色	ロクロ成形。底部右回転余切り。	
5	土 師 器 壺	ピット内 -10cm 口へ胴部	口 15.8 底 — 高 —	①白色粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は僅かに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	

1 住居跡出土遺物観察表

B-4 A号住居出土遺物観察表(第12図 P L67)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+14cm 宛形	口 11.9 底 — 高 4.3	①小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	丸底を呈し、口縁部は内傾する。口縁部内外面横ナデ。体部外面へう削り、内面指頭圧痕。	
2	土師器 坏	+4cm 宛	口(20.4) 底 (9.2) 高 6.0	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	大型の坏。口縁部は内外面横ナデ。体部及び底部外面へう削り。	
3	土師器 坏	+11cm 宛	口(13.4) 底 — 高 (4.1)	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	丸底を呈し、口縁部は直立する。口縁部内外面横ナデ。体部外面へう削り。	
4	土師器 鉢	+9cm 宛	口(25.8) 底 — 高 —	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい橙色	口縁部は内傾する。口縁部外面横ナデ。体部外面へう削り。口縁部～体部の内面はへう磨き。	
5	土師器 甕	+4cm 口縁～胴 上位宛	口(14.2) 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③赤褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へう削り、内面へうナデ。	
6	土師器 甕	+4cm 口縁～胴 上位宛	口(21.0) 底 — 高 —	①赤色細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面横方向のへう削り、内面へうナデ。	
7	土師器 甕	床密着 胴下位～ 底部宛	口 — 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	底部は丸底を呈する。胴部～底部外面へう削り、内面へうナデ。	

B-4 B号住居出土遺物観察表(第13図 P L67)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+2cm 宛	口 15.8 底 — 高 5.0	①微砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③にぶい橙色	口縁部は外傾する。口縁部外面横ナデ。体部外面へう削り。口縁部～体部内面横ナデ。	
2	土師器 坏	+1cm 宛	口(14.0) 底 — 高 4.0	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	丸底を呈する。口縁部は直立気味に立ち上がる。口縁部内外面横ナデ。体部外面へう削り、内面ナデ。内外面に指頭圧痕。	
3	土師器 鉢	+1cm 口縁～胴 上位宛	口 29.0 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい橙色	丸底を呈する大型の鉢と思われる。口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。外面にへうあて痕。体部外面へう削り、内面へうナデ。	
4	土師器 甕	床密着 口縁～胴 上位宛	口(33.4) 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③明赤褐色	丸胴を呈する大型の甕と思われる。口縁部は僅かに外反する。口縁部内外面横ナデ。外面にへうあて痕。胴部外面へう削り、内面へうナデ。	
5	土師器 甕	床密着 口縁～胴 上位宛	口(21.5) 底 — 高 —	①中砂粒・赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい赤褐色	口縁部は短く、直立気味に立ち上がる。口縁部内外面横ナデ。体部外面へう削り、内面へうナデ。	

B-6号住居出土遺物観察表(第14図 P L67)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	竈内 +9cm 口縁欠	口 12.5 底 — 高 4.2	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、軟質 ③にぶい橙色	丸底を呈する。口縁部内外面横ナデ。体部外面へう削り。	体部内面は荒れている。
2	土師器 坏	+5cm 宛	口(15.8) 底 — 高 5.1	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、軟質 ③にぶい黄褐色	丸底を呈する。口縁部は外反する。口縁部は外面横ナデ。体部外面へう削り。内面は横ナデ。	口縁部内面に厚付着。

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
							口径	底
3	土器 小型壺	甕内 +15cm % %	口(14.7) 底 3.8 高 18.1	①中砂・角閃石を含む。 ②酸化焰、軟質 ③によい橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り後へラ磨き、内面へラナデ。			
4	土器 小型壺	甕内 +13cm % %	口(13.0) 底(3.5) 高 15.6	①赤色細粒多量を含む。 ②酸化焰、軟質 ③によい橙色	口縁部は緩やかに外反する。底部の厚みは極めて厚い。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面広いハケメ。			
5	土器 小型壺	覆土	口(8.2) 底(5.2) 高(5.1)	①緻密 ②酸化焰、良好 ③橙色	最大径は胴下位にある。口縁部外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面は口縁部～胴部横ナデ、胴下位～底部に指頭圧痕。			
6	土器 小型壺	覆土 % %	口(7.0) 底(5.6) 高 5.9	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	最大径は胴上位にある。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面はナデ、指頭圧痕あり。			
番号	器種	出土状況 残存状況	計 量 (cm・g)				石 材	特 徴
			全長	径	孔径	重量		
7	石製品 管玉	覆土 完形	2.6	0.7	0.2~0.3	1.8	瑠璃頁岩	形状は円柱状を呈する。色調は青緑色を呈する。上下より穿孔。

B-7号住居出土遺物観察表(第20図 P L68)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 環	覆土 % %	口(14.5) 底 4.4 高 6.0	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③によい橙色	ロクロ成形。右回転糸切り。	器形に歪みがある。
2	須恵器 環	床密着 % %	口(12.5) 底 6.0 高 4.4	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	ロクロ成形。体部は内外面ロクロ成形後へラ磨き、底部右回転糸切り。	
3	須恵器 高台付壺	床密着 % %	口 15.6 底 6.8 高 6.6	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③によい赤褐色	ロクロ成形。右回転。体部内面ロクロ成形後へラ磨き。高台貼付。	
4	須恵器 小型環	+3cm % %	口 10.0 底 5.3 高 2.9	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	
5	須恵器 小型環 灯火器か	+4cm 完形	口 10.0 底 5.2 高 2.6	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	体部は内外面ロクロ成形後へラ磨き。底部右回転糸切り。	内面に傷付着。
6	須恵器 小型環	床密着 % %	口(10.8) 底 5.3 高 2.9	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	体部ロクロ成形後へラ磨き。底部右回転糸切り。	
7	須恵器 小型環	+2cm % %	口(10.2) 底 5.1 高 2.0	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③によい橙色	体部ロクロ成形後へラ磨き。底部右回転糸切り。	
8	須恵器 小型環	床密着 % %	口(9.6) 底 5.0 高 2.6	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	体部ロクロ成形後へラ磨き。底部右回転糸切り。	
9	須恵器 小型環 灯火器か	+9cm % %	口(11.2) 底(5.6) 高 2.6	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③明赤褐色	体部ロクロ成形後へラ磨き。底部右回転糸切り。	内面に傷付着。
10	土器 土蓋	床密着 口縁～胴 上位% %	口(30.0) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③明赤褐色	口縁部内外面横ナデ。胴部無調整、指頭圧痕あり。胴部外面へラ削り後へラ磨き、指頭圧痕・輪模痕あり。内面はへラナデ。	
11	土器 土蓋	床密着 口縁～胴 上位% %	口(27.3) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り後へラ磨き、内面へラナデ。	
12	土器 土蓋	+13cm 口縁～胴 上位% %	口(24.9) 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③によい橙色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面はナデ。	

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
13	須恵器 羽蓋	+19cm 口縁部片	口— 底— 高—	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	ロクロ成形。口縁部内外面横ナデ。口縁部は底部で短く外反する。	
14	須恵器 羽蓋	床密着 口縁→胴 上位片	口(25.4) 底— 高—	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③褐色	ロクロ成形。口縁部内外面横ナデ。胴下半ロクロ成形後へラ削り。	

B-8号住居出土遺物観察表(第22図 P L68)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
							計	額 値(cm・g)
番号	器 種	出土状況 残存状況	全 長	幅	厚 さ	重 量		
1	土 師 器 杯	+29cm 片	口 11.4 底 — 高 3.6	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、軟質 ③褐色	丸底を呈する。外縁を持つ。口縁部内外面横ナデ。体部外面へラ削り後へラ磨き。			
2	土 師 器 杯	+27cm 片	口(11.0) 底 — 高 —	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい褐色	丸底を呈し、口縁部と体部との境に外縁がある。口縁部内外面横ナデ。内面に指頭正直。	外面は器面の荒れ著しい。		
3	土 師 器 罍	+29cm 口縁→胴 上位	口 — 高 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。外面に指頭正直。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。			
4	土 師 器 罍	+10cm 口縁部片	口(20.4) 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。			
5	石皿状の石 製品	黄土 完形	11.6	11.3	2.4	640.1	粗粒安山岩	方形に近い石を石皿状に加工したもののか。表面及び側面に工具痕が認められる。
6	煎 石	北西隅 +35cm	8.6	7.7	5.3	385.2	実質安山岩	円縁の両面に使用痕。

B-10号住居出土遺物観察表(第25図 P L68)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土 師 器 杯	+6cm 片	口(12.3) 底 — 高 3.8	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、軟質 ③褐灰色	口縁部は直立気味に立ち上がる。口縁部外面横ナデ後へラ磨き。体部→底部外面へラ削り後へラ磨き。内面は横ナデ。	

B-12号住居出土遺物観察表(第29・30図 P L68)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須 恵 器 杯	甕右袖部 床密着 片	口(11.1) 底 (5.0) 高 3.5	①微細砂粒・角閃石を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	右回転ロクロ成形。底部余切り。	
2	須 恵 器 高台付埴	甕左袖部 +14cm 片	口 12.6 底 6.2 高 4.1	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、軟質 ③黄褐色	ロクロ成形。高台貼付。	内外両面荒れが著しい。
3	灰 輪 陶 器 高台付皿	甕左脇 +11cm ほぼ完形	口 12.8 底 7.0 高 2.5	①白色微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	右回転ロクロ成形。底部余切り。高台貼付。施釉は横け掛け。	虎渡山1号窯式
4	灰 輪 陶 器 高台付埴	甕左袖部 +15cm 片	口(14.5) 底 — 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。施釉は横け掛け。	大原2号窯式

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考	
							計
番号	器 種	出土状況 残存状況	全長	幅	厚さ	重量	
5	灰軸陶器 高台付埴	覆土 片	口(13.2) 底(7.2) 高 3.8	①胎土 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。底部余切り。胎軸は横け掛け。	大原2号窯式	
6	土 師 器 埴	北東隅 -3cm 片	口(22.0) 底 - 高 -	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③にぶい橙色	口縁部は短く外反する。口縁部は内外面横ナデ。 胴部外面へう削り、内面へラナデ。		
7	須 恵 器 羽 埴	電左懸 床密着 口縁部片	口(19.6) 底 - 高 -	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。口縁部は内傾する。肩は断面三角形を呈する。		
8	須 恵 器 羽 埴	電壁 +24cm 口縁部片	口(19.8) 底 - 高 -	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③にぶい橙色	ロクロ成形。口縁部は内傾する。肩は断面三角形を呈する。		
9	磨 石	+3cm ほぼ完成	19.3	19.6	5.2	2400	粗粒安山岩 片面(表面)の全面が磨面で、ほぼ全面に備付着。

B-13号住居出土遺物観察表(第33図 P L69)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考	
							計
番号	器 種	出土状況 残存状況	全長	幅	厚さ	重量	
1	土 師 器 坏	+6cm ほぼ完成	口 13.6 底 - 高 4.3	①粗砂粒・小石を含む。 ②還元焰、軟質 ③橙色	丸底を呈し、口縁部は内傾する。口縁部と体部の境に外稜を持つ。口縁部内外面横ナデ。体部外面へう削り、内面はナデ、指面圧痕。		
2	土 師 器 坏	+7cm 片	口(11.8) 底 - 高 4.4	①微細砂粒・赤色細粒を含む。 ②還元焰、良好 ③にぶい橙色	丸底を呈し、口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。体部外面へう削り後へう磨き、内面へラナデ。		
3	土 師 器 坏	覆土 片	口(12.4) 底 - 高(3.7)	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③にぶい黄褐色	丸底を呈し、口縁部は直立する。外稜は明瞭。口縁部外面横ナデ。体部外面へう削り。内面は口縁部へ体部横ナデ、指面圧痕あり。		
4	土 師 器 埴	+9cm 口縁~胴 上半	口 20.5 底 - 高 -	①中砂粒・白色細粒を含む。 ②還元焰、良好 ③にぶい黄褐色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へう削り、内面はへラナデ。		
5	須 恵 器 埴	+8cm 口縁~胴 上位写	口 - 底 - 高 -	①黒色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③暗灰黄色	ロクロ成形。口縁部は内外面横ナデ。胴部外面タタキしめ後横ナデ、内面は背面弦文。		
6	鉄 製 品 刀	+23cm 片	(18.0)	1.3	0.6	20.1	茎は一部欠損。刃部は一部を残すのみで殆ど以上を欠損。棟区は明瞭。刃部は断面三角形、茎は断面長方形を呈する。

B-14号住居出土遺物観察表(第35図 P L69)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
番号	器 種	出土状況 残存状況	全長	幅	厚さ	重量
1	土 師 器 坏	床下覆土 片	口(12.1) 底 - 高(4.1)	①胎土 ②還元焰、堅緻 ③にぶい橙色	丸底を呈する。口縁部は外傾する。外稜は明瞭。口縁部外面横ナデ後へう磨き。体部外面へう削り後へう磨き。内面は横ナデ。	
2	須 恵 器 坏	覆土 片	口(10.0) 底 - 高 4.5	①黒色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③褐色	体部は内傾する。ロクロ成形。底部は回転へう削り。	

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
3	土器 高坏	+10cm 脚部欠	口— 底(14.3) 高—	①石英・黒色粒・赤色粒を含む。②酸化焰、良好 ③明赤褐色	脚部は胴部で大きく開く。脚部外面へラ削り、内面ナデ。胴部内外面横ナデ。	
4	土器 壺	床密着 ほぼ完形	口23.6 底4.5 高36.4	①中砂・小石・赤色細粒を含む。②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面縦方向のへラ削り、底部付近は斜め方向、内面へラナデ。底部外面へラ削り。	
5	土器 壺	床密着 ほぼ完形	口22.2 底— 高34.7	①中砂・小石を含む。②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外反し、底部は丸底を呈する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	

B—15号住居出土遺物観察表(第37図 P L69)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考	
1	土器 坏	甕底部 床密着 欠	口(18.0) 底— 高4.8	①赤色細粒を含む。②酸化焰、やや軟質 ③橙褐色	丸底を呈する。口縁部は内傾する。口縁部外面横ナデ、体部外面へラ削り。内面は口縁部へ体部横ナデ。		
2	土器 壺	甕底部 床密着 ほぼ完形	口22.8 底4.5 高41.6	①黒色鉱物・小石・粗砂を含む。②酸化焰、良好 ③にぶい橙褐色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ、外面に棒状工具による沈線2条、指頭圧痕。胴部～底部外面へラ削り、内面へラナデ。		
3	土器 壺	床密着 ほぼ完形	口17.0 底8.6 高22.1	①粗砂・小石・赤色細粒を含む。②酸化焰、軟質 ③橙褐色	最大径は胴部中位にある。口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面斜め方向のへラ削り。	内面の寬れ著しい。	
4	土器 壺	甕底部 +13cm 胴～底部	口— 底7.5 高—	①石英・黒色鉱物・白・赤色細粒を含む。②酸化焰、やや軟質③にぶい橙褐色	胴部～底部内外面へラ削り。	胴下位に内外面横ナデ。	
番号	器種	出土状況 残存状況	計測値(cm・g)			特徴	
			全長	幅	厚さ		重量
5	鉄製品 火打金	床密着 一部欠損	6.4	0.9	0.9	8.7	一部欠損。打撃部真側の山形に突出している。錆化が進行している。

B—16号住居出土遺物観察表(第39図 P L69・70)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土器 壺	+5cm ほぼ完形	口18.9 底— 高36.5	①粗砂粒・小石を含む。②酸化焰、軟質 ③橙褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。器面の寬れ著しく、胴下位には2次的に火を受けた痕跡。	胴上位に煤付着。
2	土器 壺	床密着 胴～底部 欠	口— 底4.8 高—	①粗砂粒・小石を含む。②酸化焰、軟質 ③にぶい赤褐色	胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	
3	土器 壺	+9cm 口縁欠	口(19.6) 底— 高—	①極粗砂粒・石英を含む。②酸化焰、軟質 ③橙褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	

B—17号住居出土遺物観察表(第41・42図 P L70・71)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土器 坏	甕石脇 +9cm ほぼ完形	口13.6 底— 高4.7	①粗砂粒・白・黒色鉱物を含む。②酸化焰、良好 ③にぶい橙褐色	体部は狭く、口縁部短く内傾する。外縁は明確。口縁部は内外面横ナデ。体部外面へラ削り後へラ磨き。体部内面に指頭圧痕。	内面煤付着

B-15・16・17号住居出土土遺物観察表

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量 (cm)	①胎土 ②胎色 ③色調	成形・整形の特徴	備考
2	土師器 坏	+2cm ほぼ完成	口 13.4 底 — 高 5.1	①中砂粒・赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	体部は狭く、口縁部は長い。口縁部外面は横ナデ後へラ磨き、内面横ナデ。体部へラ削り。	
3	土師器 坏	床密着 ほぼ完成	口 12.7 底 — 高 3.9	①雲母・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい橙色	体部へ口縁部は内湾する。口縁部内外面横ナデ。体部外面へラ削り。	体部に黒斑。
4	土師器 坏	床密着 ほぼ完成	口 14.0 底 — 高 4.7	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや軟質 ③にぶい黄褐色	口縁部は短く内傾する。外縁は明瞭。口縁部内外面横ナデ。体部外面へラ削り、内面へラナデ。	内面 瓦に傷付着。器面荒れて
5	土師器 坏	+2cm ほぼ完成	口 12.7 底 — 高 3.8	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや軟質 ③橙色	口縁部は短く内傾する。外縁は明瞭。口縁部内外面横ナデ。体部外面へラ削り、内面に指環瓦痕。	
6	土師器 坏	床密着 口縁5欠	口 14.1 底 — 高 4.5	①白色細砂を含む。 ②酸化焰、やや軟質 ③橙色	口縁部は僅かに外反する。口縁部内面に棒状工具による沈線1条。外縁は明瞭。口縁部は内外面横ナデ。体部外面へラ削り。	体部内面荒れて
7	土師器 坏	床密着 ほぼ完成	口 12.8 底 — 高 3.9	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや軟質 ③褐色	口縁部は短く内傾する。体部も浅い。口縁下部に棒状工具による沈線1条。外縁は明瞭。口縁部は内外面横ナデ。体部外面へラ削り、内面ナデ。	
8	土師器 坏	電左袖 +28cm 5/6	口(10.6) 底 — 高 3.7	①中砂粒・白色鉱物を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい褐色	口縁部は短く直立する。口縁部は内外面横ナデ。体部へラ削り後へラ磨き。	底部に明瞭な木葉痕。
9	土師器 坏	電左袖 +16cm 完成	口 16.9 底 — 高 5.6	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	大型の坏。口縁部は内傾し、外縁は明瞭。口縁部と体部の境は棒状工具による強い押さえ。口縁部内外面横ナデ。体部外面へラ削り後へラ磨き、内面放射状へラ磨き。	
10	土師器 小型壺	電右脇 +6cm ほぼ完成	口 15.2 底 5.6 高 12.2	①中砂粒・石英・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部は外反する。底部に焼成後の穿孔あり。口縁部は内外面横ナデ。胴部及び底部外面へラ削り。	瓶に転用か。
11	土師器 小型壺	+8cm ほぼ完成	口 13.6 底 — 高 13.2	①粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、やや軟質 ③橙色	口縁部は直立気味に立ち上がる。底部は丸底を呈する。口縁部は内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	
12	土師器 小型壺	電左脇 +20cm ほぼ完成	口 11.0 底 — 高 12.0	①白色細粒・小石を含む。 ②酸化焰、やや軟質 ③橙色	口縁部は直立気味に立ち上がる。底部は丸底を呈する。内外面器面の荒れ著しい。	内面に黒色の付着物。
13	土師器 小型壺	電右袖 +17cm 5/6	口(14.5) 底 — 高 10.0	①粗砂粒・赤色細粒を含む。 ②酸化焰、やや軟質 ③にぶい橙色	口縁部は僅かに外反する。底部は丸底を呈する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面ナデ。	
14	土師器 小型壺	+9cm 5/6	口(15.5) 底 3.4 高 13.3	①中砂粒・石英・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、良好 ③沈黄褐色	口縁部は外反する。口縁部は内外面横ナデ。胴部へ底部外面へラ削り。内面へラナデ。	
15	土師器 壺	電左脇 +8cm ほぼ完成	口(13.7) 底 (9.7) 高 22.0	①粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、軟質 ③橙色	口縁部は僅かに外反する。口径は小さく、底径が大きい。口縁部内外面横ナデ。胴部へ底部外面へラ削り。胴部内面へラナデ。	
16	土師器 壺	+4cm ほぼ完成	口 18.0 底 6.0 高 33.2	①粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は緩やかに外反する。最大径は胴上にある。口縁部は内外面横ナデ。胴部外面縦方向のへラ削り、内面へラナデ。	
17	土師器 壺	北東隅 -2cm ほぼ完成	口 18.5 底 5.5 高 32.5	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	折り返り口縁。口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面縦方向及び斜め方向のへラ削り、内面へラナデ。	胴部に炭化物付着。底部に木葉痕。
18	土師器 壺	電左袖 +12cm ほぼ完成	口 20.2 底 5.3 高 32.8	①粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部は内外面横ナデ。胴部外面縦方向のへラ削り、内面ナデ。底部外面へラ磨き。	
19	土師器 壺	電右袖 +7cm 胴へ底部	口 — 底 5.3 高 —	①微細砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	底部はくぼみ底。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	
20	土師器 瓶	電右袖 +5cm 完成	口 22.4 底 10.0 高 27.2	①粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部は僅かに外反する。口縁部内外面横ナデ。下部の外面に棒状工具による強い押さえ。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。底部付込へラ削り。	

1 住居跡出土遺物観察表

B-18号住居出土遺物観察表(第44図 P L71)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 環	甕前部 +2cm	口 10.1 底 - 高 3.5	①微細砂粒を含む。 ②酸化焙、良好 ③によい褐色	丸底を呈する。体部は内湾し、口縁部は内傾する。 口縁部内外面横ナデ。体部外面へラ削り。	
2	土師器 環	甕前部 +3cm	口(13.4) 底 - 高 3.9	①微細砂粒を含む。 ②酸化焙、やや堅緻 ③によい褐色	丸底を呈する。口縁部内外面横ナデ。体部外面へラ削り。	
3	土師器 皿形環	甕前部 +3cm	口(19.4) 底 - 高 -	①赤色微細砂粒・雲母を含む。 ②酸化焙、良好 ③明赤褐色	丸底を呈する。体部外面へラ削り。	内面は器面が荒れている。
4	土師器 壺	甕前部 +2cm 底部欠	口 23.2 底 - 高(36.0)	①粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焙、良好 ③褐色	底部は丸底を呈する。口縁部は大きく外反する。 口縁部内外面横ナデ、内面の一部にへラあて痕。 胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	

B-19号住居出土遺物観察表(第46図 P L71)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 環	床下覆土	口(10.5) 底 5.5 高 3.1	①微細砂粒を含む。 ②酸化焙、軟質 ③浅黄褐色	右回転ロクロ成形。	底部荒れている。
2	須恵器 高台付埴	+13cm 口縁部欠	口 - 底 - 高 -	①微細砂粒・石英・黒色 鉱物を含む。②酸化焙、 軟質③浅黄色	ロクロ成形。底部右回転糸切りか。高台貼付。	内外面器面が荒れている。高台 銅鏝
3	灰釉陶器 高台付埴	+6cm	口(10.5) 底(4.8) 高 3.2	①緻密 ②還元焙、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。底部回転へラ削り調整。高台貼付。 内外面の一部に朱あり。外面刻字か。高台部及び 内面に筋輪。筋輪は潰け掛か。	大原2号窯式
4	須恵器 短頸壺	+6cm	口(14.0) 底(12.0) 高(20.4)	①緻密 ②酸化焙、良好 ③灰白色	口縁部は緩やかに外反する。胴上位にロクロ成形 痕。胴下位ロクロ成形後ナデ、最下部ロクロ成形 後へラ削り。内面ロクロ成形後横ナデ。	
5	須恵器 羽	覆土 口縁部片	口 - 底 - 高 -	①微細砂粒を含む。 ②還元焙、やや堅緻 ③灰黄色	ロクロ成形。	

B-20号住居出土遺物観察表(第48図 P L72)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 高台付埴	覆土 底部片	口 - 底(8.0) 高 -	①緻密 ②還元焙、やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形。高台貼付。	
2	土師器 壺	甕左脇 +5cm 口縁へ削	口(19.2) 底 - 高 -	①細砂粒を含む。 ②酸化焙、良好 ③褐色	「コ」の字状口縁の變。口縁部内外面横ナデ。胴 部外面へラ削り、内面へラナデ。	
3	須恵器 壺	甕内 +7cm 胴へ削部	口 - 底 - 高 -	①緻密 ②還元焙、やや軟質 ③浅黄色	外面叩目後ナデか。内面指ナデ。	

B-24号住居出土遺物観察表(第53図 P L72)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 高台付埴	貯蔵穴上 部+4cm	口 14.1 底 6.1 高 5.8	①微細砂粒を含む。 ②還元焙、やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形。体部は内湾気味に立ら上がる。底部 右回転糸切り。高台貼付。高台部内外面横ナデ。	

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
2	須恵器 環?	+6cm 口縁部欠	口— 底 5.1 高—	①白・赤色細粒・黒色鉱物を含む。②酸化焰、やや堅緻③にぶい橙色	ロクロ成形。体部外面横ナデ、下部は手持ちヘラ削り、内面は横方向のヘラナデ。底部右回転糸切り。	
3	須恵器 環	電石袖 +10cm	口(18.0) 底(6.8) 高 3.6	①微細砂粒・肉閃石を含む。②酸化焰、やや軟質③にぶい橙色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	
4	土師器 壺	甕内 片	口(18.8) 底(3.5) 高 26.0	①微細砂粒を含む。②酸化焰、良好③明赤褐色	「コ」の字状口縁。口縁部内外面横ナデ。頸部外面に指面圧痕。胴部及び底部外面ヘラ削り。胴部内面の上位はヘラナデ、下位はハケメ。	
5	土師器 壺	+7cm 口縁~胴部	口(18.6) 底— 高—	①細砂粒を含む。②酸化焰、良好③橙色	「コ」の字状口縁。口縁部内外面横ナデ、口唇部に沈線1条。頸部に指面圧痕。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
6	須恵器 壺	床密着 胴~底部	口— 底(14.0) 高—	①緻密②還元焰、堅緻③明赤褐色	大型の壺。胴部外面ナデ、内面あて目板。底部外面ヘラ削り。	

B-25号住居出土遺物観察表(第55・56図 P L72)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 環	-4cm ほぼ完形	口 12.8 底— 高 4.8	①微細砂粒を含む。②酸化焰、良好③にぶい橙色	丸底を呈する。体部は内湾気味に立ち上がる。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面に指面圧痕。	
2	土師器 環	-3cm ほぼ完形	口 11.8 底— 高 4.1	①微細砂粒を含む。②酸化焰、良好③橙色	丸底を呈する。底部の器内が厚い。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	
3	土師器 環	+29cm 片	口(14.0) 底— 高 4.8	①微細砂粒・赤色細粒を含む。②酸化焰、良好③橙色	丸底を呈する。体部は内湾気味に立ち上がる。口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。内面は口縁部~体部横ナデ。	
4	土師器 環	+32cm 片	口 10.6 底— 高 4.0	①緻密②酸化焰、堅緻③橙色	丸底を呈する。体部は内湾気味に立ち上がり、口縁部は内傾する。口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。内面は口縁部~体部横ナデ。指面圧痕。	
5	土師器 環	+46cm 片	口(11.8) 底— 高 4.0	①微細砂粒を含む。②酸化焰、良好③橙色	丸底を呈する。体部は内湾気味に立ち上がり、口縁部は内傾する。口縁部内外面横ナデ、体部外面ヘラ削り。	
6	土師器 環	-27cm 片	口(12.9) 底— 高 4.2	①微細砂粒を含む。②酸化焰、良好③橙色	丸底を呈する。体部は内湾気味に立ち上がる。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	
7	土師器 環	+62cm 片	口(11.8) 底(8.0) 高 4.0	①細砂粒を含む。②酸化焰、良好③にぶい橙色	口縁部外面横ナデ。体部外面はヘラ削り。内面は横ナデ後放射状ヘラ磨き。	
8	土師器 環	+29cm 底部欠損 片	口(14.7) 底— 高(5.2)	①微細砂粒を含む。②酸化焰、良好③橙色	丸底を呈する。体部は内湾し、口縁部は僅かに内傾する。口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。内面は横ナデ後放射状ヘラ磨き。	
9	土師器 皿形環	+54cm 片	口(18.2) 底— 高 2.3	①粗砂へ中砂粒を含む。②酸化焰、良好③橙色	口縁部内外面横ナデ。体部~底部外面ヘラ削り。	
10	土師器 皿形環	+28cm ほぼ完形	口 19.0 底— 高(4.3)	①微細砂粒を含む。②酸化焰、良好③橙色	丸底を呈する。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	
11	土師器 鉢	床密着 片	口(24.6) 底— 高—	①粗砂粒を含む。②酸化焰、良好③にぶい赤褐色	丸底を呈する。口縁部は短く外反する。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
12	須恵器 盤	西壁 片	口— 底(14.8) 高—	①微細砂粒を含む。②還元焰、やや軟質③淡黄色	ロクロ成形。底部回転ヘラ削り調整。高台貼付。高台部横ナデ。	

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
13	土器器 小型壺	+47cm 口縁片	口 11.7 底 — 高 —	①粗粒砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③赤褐色	口縁部は僅かに外反する。口縁部内外面横ナデ。 胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	
14	土器器 小型壺	+59cm 口縁→胴部	口(13.4) 底 — 高 —	①細砂・雲母・赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は僅かに外反する。口縁部内外面横ナデ。 胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	
15	土器器 壺	+49cm 口縁→胴部	口 17.0 底 — 高 —	①中粒砂・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③赤褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。 胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	
16	土器器 壺	床密着 口縁→胴部	口(21.2) 底 — 高 —	①細粒砂を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	
17	土器器 壺	+43cm 口縁→胴部	口(16.3) 底 — 高 —	①粗粒砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。 胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	
18	土器器 壺	+50cm 口縁→胴部	口(19.3) 底 — 高 —	①粗粒砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は短く外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	
19	土器器 壺	+64cm 胴下位→底部片	口 — 底 — 高 —	①粗粒砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③赤褐色	丸底を呈する。丸胴の大型の壺とと思われる。胴部外面へラ削り後へラ磨き、内面へラナデ。	

B-26号住居出土遺物観察表(第58図 P L 73)

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土器器 坏	+2cm 口縁一部 欠損	口 10.6 底 — 高 5.2	①緻密 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	丸底を呈し、体部は内湾する。口縁部は直立気味に立ち上がる。口縁部内外面横ナデ。体部外面へラ削り、内面横ナデ後へラ磨き。	内面黒色処理
2	土器器 坏	竈左袖 +14cm ほぼ完形	口 14.2 底 — 高 5.1	①雲母・黒色鉱物・赤色細粒・微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③にぶい褐色	丸底を呈する。外縁は弱く、口縁下部に棒状工具による沈線2条、口縁部内外面横ナデ後へラ磨き。体部外面へラ削り後へラ磨き。	
3	土器器 坏	床密着 ほぼ完形	口 15.0 底 — 高 5.9	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい褐色	丸底を呈する。外縁は弱く、口縁部と体部の境に棒状工具による沈線1〜2条、口縁部外面横ナデ。体部外面へラ削り後へラ磨き。内面の口縁部へ体部横ナデ後へラ磨き。	
4	土器器 鉢?	覆土 底部欠損 片	口(19.2) 底 — 高 —	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③洗黄褐色	丸底を呈し、口縁部は外傾する。口縁部外面横ナデ。口縁部へ体部内面は横ナデ後へラ磨き。	体部外面の摩耗著しい。
5	土器器 小型壺	竈左袖 +13cm 片	口(14.6) 底 8.2 高 17.9	①粗粒砂・赤色粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面底部→口縁部に向かって斜め方向のへラ削り、内面へラナデ。	
6	土器器 壺	竈右脇 +7cm 口縁→胴部	口 25.5 底 — 高 —	①粗粒砂を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	
7	土器器 壺	床密着 胴部→底部	口 — 底 4.0 高 —	①粗粒砂を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	外面へラ削り。内面へラナデ。	底部木炭痕

B-27号住居出土遺物観察表(第60図 P L 73)

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 小型坏	床下覆土 片	口(10.0) 底 (5.5) 高 2.9	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
2	灰輪陶器 壺	東壁下 床着着 口縁欠	口(14.5) 底— 高—	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。施軸は覆け掛け。	
3	須恵器 羽蓋	北壁下 +13cm 口縁部片	口(20.0) 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。口縁部は内傾し、筒は断面三角形を呈する。	
4	須恵器 羽蓋	床着着 口縁部片	口(21.0) 底— 高—	①中砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③によい橙色	ロクロ成形。口縁部は内傾し、筒は断面三角形を呈する。	

B-30号住居出土遺物観察表(第62図 P L73・74)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
							計 測 値 (cm・g)	
			全 長	幅	厚 さ	重 量		
1	須恵器 坏	東南部 +7cm 一部欠損	口 13.5 底 5.8 高 5.1	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰黄褐色	ロクロ成形。底部は右回転糸切り。体部は内湾気味に立ち上がり、口縁部は外反する。	器形に歪みがある。		
2	須恵器 坏	旧竈内 床着着 欠	口 13.3 底 5.8 高 4.0	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③暗褐色	ロクロ成形。底部は右回転糸切り。			
3	須恵器 坏	新竈内 +4cm	口 13.4 底 5.9 高 4.3	①微細砂粒・白色細粒・ 黒色鉱物を含む。②還元 焰、やや軟質③灰黄褐色	ロクロ成形。底部は右回転糸切り。口縁部は外反する。			
4	須恵器 坏	東南部 +7cm 欠	口(13.4) 底(5.2) 高 4.6	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰白色	ロクロ成形。底部欠損。			
5	須恵器 坏	旧竈内 +11cm 欠	口(13.2) 底(5.0) 高 3.9	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③によい黄褐色	ロクロ成形。底部回転糸切り。	器面が荒れている。 内面に傷付き。		
6	須恵器 坏	東南部 +13cm 欠	口(12.1) 底 6.6 高 4.2	①緻密 ②還元焰、良好 ③橙色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。口縁部は短く外反する。			
7	須恵器 高台付埴	東南部 +5cm 口縁部欠	口— 底 6.6 高—	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰黄色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。高台貼付。高台部横ナデ。体部は内湾気味に立ち上がる。			
8	灰輪陶器 高台付埴	覆土 口(7.6) 底—	口— 底(7.6) 高—	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③によい黄褐色	ロクロ成形。底部は回転ヘラ切り後回転ヘラ削り調整。施軸は刷毛掛け。	内面に重ね焼き痕あり。 ケガレ1号窯式		
9	土師器 埴	新竈内 口縁~胴 部	口(17.7) 底— 高—	①微細砂・石英・黒色鉱 物・赤色粒を含む。②還 元焰、良好③橙色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ、外面に輪積み痕あり。胴部外面ヘラ削り、内面にハケメ。			
10	須恵器 羽蓋	新竈内 口縁~胴 部	口(20.0) 底— 高—	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③によい橙色	ロクロ成形。口縁部は大きく内傾する。			
11	須恵器 小型壺	+6cm 体~底部	口— 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰白色	外面の肩部にカキ目傷。胴部に沈線2条。沈線の間に歯状工具による列点刺突文。内面はナデか。			
番号	器 種	出土状況 残存状況	計 測 値 (cm・g)			石 材	特 徴	
			全 長	幅	厚 さ			重 量
12	砥 石	+12cm 完形	13.0	9.6	1.8	296.1	凝灰質砂岩 表面のみ使用。	
13	鉄 製 品 釘	覆土 上部欠損	(6.5)	—	1.2	0.6	7.8	先端部欠損。断面は長方形を呈し、肉厚である。
14	鉄 製 品 釘	覆土 欠	(3.7)	—	1.5	0.5	6.1	釘の上半部。断面は長方形を呈し、肉厚である。

I 住居跡出土遺物観察表

B-34号住居出土遺物観察表(第65・66図 P L74)

番号	土器種別 器	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	竪立扁 床密着 ほぼ完形	口 13.2 底 — 高 4.4	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は外傾する。外縁は弱い。口縁部外面横ナ デ、沈線2〜3条。体部外縁ヘラ削り。内面横ナ デ後ヘラ磨き。	内面黒色処理
2	土師器 甕	甕前 床密着 口縁一部	口(22.0) 底 — 高 —	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外 面縦方向のヘラ削り、内面ヘラナデ。	
3	土師器 甕	甕内 床密着 胴部	口 — 底 5.9 高 —	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	胴部〜底部外面縦方向のヘラ削り、内面ヘラナデ。	
4	土師器 甕	甕前 床密着 ほぼ完形	口(25.2) 底(9.6) 高 33.7	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③によい黄褐色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。 胴部外面縦方向のヘラ削り、内面ヘラナデ後縦方 向のヘラ磨き。	
5	土師器 甕	甕前 床密着 口縁部欠	口 — 底 11.9 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部欠損。口縁下部内外面横ナデ。胴部外面ヘ ラ削り、内面縦方向のナデ。底部付近内面横方向 のヘラ削り後縦方向のナデ。	
6	須恵器 甕	床密着 胴部片	口 — 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰黄褐色	外面平行印目文、横方向のカキ目。内面青黄波文。	

B-37号住居出土遺物観察表(第69・70図 P L74・75)

番号	土器種別 器	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+24cm 完形	口 11.0 底 — 高 3.8	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部〜体部内溝。口縁部内外面横ナデ。体部外 面ヘラ削り。	器面は荒れている。
2	土師器 坏	+29cm 完形	口 11.4 底 — 高 4.1	①緻密 ②酸化焰、良好 ③褐色	底面の器内が厚い。口縁部外面横ナデ。体部外面 ヘラ削り。	器面は荒れている。
3	土師器 坏	+17cm 片	口(11.3) 底 — 高 3.7	①緻密 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部〜体部内溝。口縁部内外面横ナデ。体部外 面ヘラ削り。	内面は器面が荒 れている。
4	土師器 坏	+29cm 片	口 14.4 底 — 高 5.3	①緻密、細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面放射 状ヘラ磨き。	
5	土師器 碗?	甕土 底部欠損	口 10.6 底 — 高 7.4	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は短く、内傾する。丸底を呈する。口縁部 内外面横ナデ、体部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
6	土師器 小型 甕	+13cm 口縁一部	口(12.5) 底 — 高 —	①赤色細粒・石英含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は僅かに外反する。口縁部内外面横ナデ。 胴部外側口縁部〜胴部斜め方向のヘラ削り、内面 ヘラナデ、指面圧痕。	
7	土師器 小型 甕	+37cm 片	口(9.8) 底 — 高 9.2	①細砂・雲母・黒色炭物 を含む。②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部は短く、外反する。底部は丸底。口縁〜胴 部外面横ナデ。口縁部内面横ナデ。胴部外面ヘラ 削り、内面ヘラナデ。	
8	土師器 甕	+3cm 底部欠損	口 22.8 底 — 高 —	①極粗砂粒・赤色細粒を 含む。②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は外反する。口縁部に1〜2本の沈線。口 縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラ ナデ。	
9	土師器 甕	床密着 一部欠損	口 23.5 底 5.7 高 34.2	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。 胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	胴上位に焼成後 の小円孔あり。
10	土師器 甕	+25cm 口縁一部	口(22.9) 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。 胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	

番号	土器種別	出土状況 残存状況	流量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
11	土師器 壺	+16cm 口縁~胴部	口 24.2 底 — 高 —	①胎土 ②焼成 ③色調 ①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	丸胴の大型の壺と思われる。口縁部は外反する。 口縁部内外面横ナデ。胴部外面へう削り、内面へラナデ。	

B-38号住居出土遺物観察表(第72図 P L75)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	流量(cm)	計 測 値 (cm・g)				石 材	特 徴
				全 長	幅	厚 さ	重 量		
1	土師器 杯	+17cm ほぼ完形	口 12.4 底 10.4 高 3.8	①胎土 ②焼成 ③色調 ①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③黄褐色	口縁部外面横ナデ。体部外面へう削り。			内面の反れ著しい。	
2	土師器 杯	+28cm %	口(11.3) 底 7.8 高 3.8	①胎土 ②焼成 ③色調 ①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は直立気味に立ち上がる。口唇部は非常に器厚が薄い。口縁部内外面横ナデ。体部外面へう削り。			内面の表面の荒れ著しい。	
3	土師器 杯	+20cm %	口(12.4) 底 (9.8) 高 (4.8)	①胎土 ②焼成 ③色調 ①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部内外面横ナデ。体部外面へう削り。			内面の表面の荒れ著しい。	
4	須恵器 蓋	+6cm %	口(14.9) 胸 4.5 高 2.3	①胎土 ②焼成 ③色調 ①微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。天井部回転へう削り調整。横貼付。 内面が転用裏として使用されており、中央が摩耗している。				
5	須恵器 蓋	+10cm %	口(12.8) 胸 3.7 高 3.4	①胎土 ②焼成 ③色調 ①微細砂粒を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形。天井部回転へう削り調整。横貼付。				
6	土師器 壺	+5cm 口縁%	口(18.3) 底 — 高 —	①胎土 ②焼成 ③色調 ①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は直立気味に立ち上がる。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へう削り、内面へラナデ。				
7	磁 石	+3cm 一部欠損	25.7	17.5	2.3	1,243.3	凝灰質砂岩	主に片面(表側)に研磨の痕跡が見られる。	

B-40号住居出土遺物観察表(第75図 P L75)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	流量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 小型環	覆土 %	口 (8.7) 底 (4.4) 高 2.6	①胎土 ②焼成 ③色調 ①緻密 ②酸化焰、良好 ③褐色	ロクロ成形。口縁部内外面横ナデ。底部は右回転未切り。	内面に数カ所傷付着。灯火器か。
2	土師器 土 蓋	床室着 %	口(27.0) 底(11.5) 高(34.0)	①胎土 ②焼成 ③色調 ①細砂粒を含む。 ②還元焰、やや堅緻 ③褐色	口縁部内外面横ナデ。口縁部~頸部外面に指頭圧痕。胴部外面へう削り、内面へラナデ。	
3	須恵器 羽 蓋	+12cm 口縁~胴部	口(25.8) 底 — 高 —	①胎土 ②焼成 ③色調 ①雲母・角閃石を含む。 ②酸化焰、良好 ③黄灰色	ロクロ使用。胴下位へう削り。	

B-41号住居出土遺物観察表(第76・77図 P L76)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	流量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 杯	-2cm 体部~底部	口 — 底 (6.6) 高 —	①胎土 ②焼成 ③色調 ①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。底部左回転未切り。	

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
2	須恵器 高台付埴	+6cm 底部	口— 底 6.8 高—	①微細砂粒・雲母含む。 ②還元焰、やや軟質 ③浅黄色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。高台貼付。			
3	須恵器 高台付埴	+1cm 底部片	口— 底 (7.8) 高—	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形。高台貼付。高台部横ナデ。体部外面及び底部に帯付着。墨書か。			
4	灰釉陶器 高台付埴	+21cm 片	口(14.8) 底 (7.2) 高 5.0	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。体部は内湾し、口縁部は外反する。体部下半ナデ調整。底部回転ヘラ切り後ナデ調整。高台貼付、内外面横ナデ。施釉は刷毛掛け。	底部の中心部にヘラ記号。		
5	灰釉陶器 高台付埴	+21cm 片	口(13.2) 底 (6.9) 高 3.1	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。口縁部は外反する。底部ナデ調整。高台貼付。施釉は刷毛掛け。	光ヶ丘1号窯式		
6	土師器 甕	-3cm 口縁部片	口(21.6) 底— 高—	①中砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③褐色	口縁部は「コ」の字状を呈する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ハケメ。			
7	須恵器 有取長型 瓶	床密着 口縁~胴 部~底部	口(16.0) 底(12.0) 高(40.9)	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰黄色	口縁部へ頸部ロクロ成形後ヘラ状工具による横ナデ。胴下位外面回転ヘラ削り調整、内面ナデ調整。高台貼付、ナデ。底部糸切りか。			
計				測 値 (cm・g)			特 徴	
番号	器 種	出土状況 残存状況	胎輪径	胎輪厚	輪 長	輪 径	重 量	特 徴
8	鉄製品 紡錘車	床密着 紡錘片	5.2	0.4	(3.6)	0.5	20.0	紡錘一部欠損。軸の断面円形。

B-42号住居出土遺物観察表(第79図)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	覆土 底部欠 片	口(12.2) 底— 高—	①細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③にぶい褐色	丸底を呈する。口縁部内外面横ナデ。	
2	土師器 坏	覆土 口縁部欠 片	口— 底— 高—	①中砂粒・黒色鉱物を含む。 ②還元焰、堅緻 ③褐色	丸底を呈する。口縁部内外面横ナデ。底部外面ヘラ削り。	
3	土師器 甕	床密着 胴部~底 部	口— 底 5.0 高—	①極粗砂粒・小石を含む。 ②還元焰、良好 ③赤褐色	胴部~底部外面ヘラ削り。内面ヘラナデ。	

B-44号住居出土遺物観察表(第81図 P L76)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	-3cm 片	口 14.6 底— 高 4.9	①粗砂粒・雲母・黒色鉱物を含む。②還元焰、良好 ③褐色	丸底を呈する。口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。内面横ナデか。	
2	土師器 甕	+6cm ほぼ完形	口 22.4 底 5.8 高 35.4	①粗砂粒・黒色鉱物を含む。②還元焰、良好 ③褐色	口縁部は大きく外反する。胴部最大径は胴上位にある。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
3	土師器 甕	-6cm 胴部~底 部片	口— 底 6.8 高—	①粗砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③明赤褐色	丸胴の小型の甕と思われる。外面は胴部~底部ヘラ削り。内面はナデ。	胴部外面に帯付着。

B-45号住居出土遺物観察表(第84図 P L76)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 環	+7cm %	口(14.2) 底(8.3) 高 3.9	①石灰を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。底部右回転余切り。	
2	須恵器 環	床密着 %	口 12.7 底 6.1 高 3.7	①青母・黒色鉱物を含む。 ②還元焰、良好 ③浅黄色	ロクロ成形。底部右回転余切り後手持ちヘラ削り調整。	
3	須恵器 環	-6cm 口縁部片	口(15.4) 底 - 高 -	①凝縮砂粒を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形。	墨書か。
4	須恵器 高台付埴	+9cm %	口 15.8 底 7.0 高 5.6	①凝縮砂粒・青母を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。底部右回転余切り。高台貼付。高台部横ナデ。	
5	須恵器 高台付埴	+6cm %	口(15.5) 底 6.5 高 5.7	①凝縮砂粒を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形。底部右回転余切り(左か)。高台貼付。高台部内外面横ナデ。	
6	須恵器 高台付埴	床密着 %	口(16.0) 底(7.4) 高 5.2	①凝縮砂粒・黒色鉱物を含む。②還元焰、やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形。体部は内湾気味に立ち上がり、口縁部は外反する。底部右回転余切りか。高台貼付。高台部内外面横ナデ。	
7	須恵器 高台付埴	-2cm %	口(14.0) 底(5.6) 高 5.0	①凝縮砂 ②還元焰、良好 ③暗灰黄色	ロクロ成形。体部は内湾気味に立ち上がり、口縁部は外反する。高台貼付。	体部下半～底部に黒書。
8	須恵器 高台付埴	床密着 %	口(13.8) 底(6.0) 高 4.9	①凝縮砂 ②還元焰、厚軟 ③灰色	ロクロ成形。底部右回転余切り。高台貼付。	
9	須恵器 高台付皿	埴内 +5cm %	口 12.8 底(7.3) 高 2.7	①褐色細粒 ②還元焰、堅軟 ③灰白色	ロクロ成形。底部右回転余切り。高台貼付。高台部内外面横ナデ。転用として使用されたものと思われ内面に摩耗している。	外面の一部に自然釉。
10	須恵器 高台付皿	覆土 %	口(13.1) 底(6.6) 高 3.1	①凝縮砂 ②還元焰、堅軟 ③灰白色	ロクロ成形。底部右回転余切り。高台貼付。高台部内外面横ナデ。	
11	土師器 壺	埴内 +2cm 口縁~胴	口(19.6) 底 - 高 -	①凝縮砂を含む。 ②酸化焰、堅軟 ③明赤褐色	「コ」の字状口縁。最大径は胴上位にある。口縁部内外面横ナデ。頸部に輪横板及び指頭圧痕。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
12	土師器 壺	覆土前 床密着 口縁~胴	口(20.0) 底 - 高 -	①凝縮砂を含む。 ②酸化焰、堅軟 ③明赤褐色	「コ」の字状口縁。最大径は胴上位にある。口縁部内外面横ナデ。頸部に輪横板。口縁部及び胴部に指頭圧痕。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
13	土師器 壺	埴内 床密着 口縁~胴	口(18.0) 底 - 高 -	①凝縮砂を含む。 ②酸化焰、やや堅軟 ③にじい褐色	「コ」の字状口縁。口縁部内外面横ナデ。胴部に輪横板及び指頭圧痕。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
14	土師器 壺	+4cm 口縁部片	口(18.0) 底 - 高 -	①凝縮砂粒を含む。 ②酸化焰、堅軟 ③褐色	「コ」の字状口縁。口縁部内外面横ナデ。胴部に指頭圧痕。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	

B-46号住居出土遺物観察表(第87図 P L77)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 環	-2cm %	口 12.8 底 - 高 4.8	①細砂粒・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	丸底を呈する。外縁を持ち、口縁部は僅かに内傾する。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	器面は荒れている。
2	土師器 環	甕右脇 +4cm 底部欠	口(14.0) 底 - 高 -	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	丸底を呈し、口縁部は内傾する。口縁部横ナデ。体部ヘラ削り。	
3	土師器 壺	東壁隙 +8cm 口縁部片	口(25.6) 底 - 高 -	①中砂粒・青母を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。外面に指頭圧痕。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	

1 住居跡出土遺物観察表

B-47号住居出土遺物観察表(第90図 P L77)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 高台付埴	床密着 ほぼ完形	口 14.2 底 7.4 高 5.0	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰白色	ロクロ成形。高台貼付。	口縁部に傷付着。底部の荒れ著しい。
2	須恵器 高台付埴	-4cm %	口 14.2 底 6.8 高 5.2	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰白色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。高台貼付。	
3	須恵器 高台付埴	-6cm %	口(14.5) 底 6.5 高 5.8	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰白色	ロクロ成形。高台貼付。	底部の荒れ著しい。
4	須恵器 高台付埴	覆土 %	口(13.6) 底 5.8 高 4.6	①織密、貫母を含む。 ②酸化焰、良好 ③によい橙色	ロクロ成形。底部右回転糸切り、棒状工具による沈線1条。高台貼付。高台部横ナデ。	
5	灰輪陶器 高台付埴	覆土 %	口(15.1) 底 - 高 -	①織密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。体部外面回転へう削り。施軸は漢け掛け。	
6	灰輪陶器 小瓶	覆土 %	口 - 底(6.4) 高 -	①織密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。胴下半回転へう削り。底部静止糸切り。胴部外面に貼付板が2ヶ所あり。	

B-49号住居出土遺物観察表(第93図 P L77)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 坏	覆土 %	口(13.0) 底(6.9) 高 3.4	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③黄灰色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	
2	須恵器 坏	覆土 %	口(12.2) 底(5.4) 高 4.1	①織密 ②還元焰、軟質 ③灰白色	ロクロ成形。体部は内湾。口縁部は外反する。	
3	須恵器 高台付埴	覆土 %	口(12.9) 底 6.2 高 4.6	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰白色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。高台貼付。	
4	須恵器 高台付埴	覆土 %	口 - 底 6.0 高 -	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰白色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。高台貼付。	
5	灰輪陶器 高台付埴	覆土 体部一底部 %	口 - 底(6.0) 高 -	①織密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。施軸は漢け掛け。高台貼付。	
6	土器 罍	甕内 +22cm 口縁へ削	口(17.2) 底 - 高 -	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③によい橙色	口縁部は外反し、端部で直立気味に立ち上がる。口縁部内外面横ナデ。胴部外面上位はナデ、下位はへう削り。内面はナデ、指窪正底。	

B-50号住居出土遺物観察表(第95図 P L77)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 高台付埴	+11cm %	口(13.5) 底(6.4) 高 5.4	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③によい橙色	体部は内湾する。ロクロ成形。高台貼付。	
2	須恵器 高台付埴	+43cm 底部	口 - 底 6.0 高 -	①織密・貫母を含む。 ②還元焰、良好 ③黄褐色	ロクロ成形。右回転糸切り。高台貼付。	

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
3	須恵器 高台付埴	壺内 耳	口(13.6) 底(5.7) 高 4.5	①緻密 ②酸化焰、良好 ③灰褐色	ロクロ成形。高台貼付。	内面に朱付着。
4	須恵器 高台付埴	+11cm 底部片	口(13.6) 底 6.3 高 5.2	①中砂粒・石英・黒色鉱物を含む。②還元焰、軟質③灰色	ロクロ成形。高台貼付。	断面荒れている。
5	土師器 壺	+7cm 口縁部片	口(20.8) 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	

B-52号住居出土遺物観察表(第97図 P L77)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 高台付埴	+5cm 体部写欠	口 13.4 底 7.4 高 6.6	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③黄灰色	ロクロ成形。高台貼付。高台部横ナデ。器形に歪みがある。	
2	灰釉陶器 高台付埴	+3cm 片	口(12.9) 底(6.6) 高 4.0	①緻密 ②還元焰、堅硬 ③灰白色	ロクロ成形。高台貼付。底部回転ヘラ削り調整。施釉は濃け掛け。	大原2号窯式
3	須恵器 羽蓋	-4cm 口縁部 胴部写	口(22.0) 底 — 高 —	①細砂粒・黒色鉱物を含む。②酸化焰、良好 ③灰白色	口縁部は内傾する。口縁部内外面及び胴部外面ロクロ成形後ヘラ状工具による横ナデ。胴部下半はヘラ削り。	
4	須恵器 羽蓋	覆土 口縁部写	口(20.0) 底 — 高 —	①緻密 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	蓋は断面三角形を呈する。口唇部は平らで中央が凹状を呈する。	

B-53号住居出土遺物観察表(第100図 P L77・78)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	覆土 写	口(10.0) 底 — 高(3.1)	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部と体部との境に外稜がある。口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	器面の荒れ著しい。
2	土師器 壺	北東隅 -6cm 口~胴部	口 24.9 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	丸胴を呈する大型の壺と思われる。口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
3	土師器 壺	北東隅 -6cm ほぼ完形	口 23.4 底 6.8 高 34.7	①極粗砂粒・黒色鉱物・赤色顔料を含む。②酸化焰、良好③赤褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部内外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
4	土師器 壺	北東隅 -5cm 口~胴部	口 22.8 底 — 高 —	①極粗砂・小石・雲母・赤色顔料を含む。②酸化焰、良好③明赤褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面縦方向のヘラ削り、内面ヘラナデ。	
5	土師器 壺	床密着 胴~底部	口 — 底 5.5 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	胴部~底部の外面はヘラ削り、内面ヘラナデ。	
6	土師器 壺	床密着 底部欠	口 24.0 底 — 高 —	①粗砂・小石・赤色顔料を含む。②酸化焰、良好③明赤褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面縦方向のヘラ削り、底部付近は横方向、内面はヘラナデ。	
7	土師器 壺	覆土 口縁部写	口(23.5) 底 — 高 —	①中砂・雲母・黒色鉱物・小石を含む。②酸化焰、良好③にぶい赤褐色	口縁部は短く、僅かに外反する。口縁部内外面横ナデ。外面に指頭圧痕あり。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	

1 住居跡出土遺物観察表

B-54号住居出土遺物観察表(第102図 P L 78)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 坏	覆土 %	口(12.6) 底(4.8) 高 4.1	①緻密 ②酸化焰、堅緻 ③によい橙色	体部は内湾し、口縁部は外反する。ロクロ成形。 底部未切り。	
2	須恵器 高台付埴 瓦	床密着 %	口(13.6) 底 6.4 高 5.9	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③褐色	ロクロ成形。底部未切り。高台貼付。内面丁寧な ヘラ磨き。	内面黒色処理
3	土師器 土 蓋	+2cm 口縁~胴 部	口 28.5 底 — 高 —	①粗細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③によい赤褐色	大塚の土蓋。口縁部内外面横ナデ。胴部外面はヘ ラ磨り後ヘラ磨き、内面はナデ。	

B-55号住居出土遺物観察表(第103図 P L 78)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	P 1内覆 土 %	口(15.4) 底(8.9) 高 4.3	①細砂粒・赤色細粒を含 む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ磨り。	
2	土師器 坏	P 3内覆 土 %	口(13.6) 底(9.4) 高 3.7	①細砂粒・赤・白色細粒 を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部へ体部外面横ナデ、内面は横ナデ後放射状 ヘラ磨き。底部外面ヘラ磨り。	
3	須恵器 坏	覆土 %	口(13.7) 底 — 高(3.8)	①黒色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	口縁部へ体部ロクロ成形後横ナデ。底部付近回転 ヘラ磨り。	
4	土師器 埴 瓦	+12cm	口(15.8) 底 5.2 高 8.7	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、やや軟質 ③によい褐色	口縁部外面横ナデ。胴部へ底部外面ヘラ磨り。内 面は横ナデ後ヘラ磨き。	内面黒色処理
5	土師器 小型壺	+20cm	口 — 底 — 高 —	①中砂粒・白色細粒を含 む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ磨り、内面は ヘラナデ。	

B-56号住居出土遺物観察表(第106図 P L 78・79)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+13cm %	口 13.7 底 — 高 5.7	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③によい褐色	口縁部は直立気味に立ち上がる。外縁は弱い。口 縁部は内外面横ナデ後ヘラ磨き。体部外面ヘラ磨 り後ヘラ磨き、内面ヘラ磨き。	
2	土師器 坏	+12cm	口(14.8) 底 — 高 5.0	①微細砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③によい褐色	口縁部は直立気味に立ち上がる。外縁は弱い。口 縁部外面は横ナデ。体部外面ヘラ磨り後ヘラ磨き。 内面は横ナデ後ヘラ磨き。	
3	土師器 坏	覆土 %	口 15.2 底 — 高 4.7	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③淡褐色	口縁部は外傾する。口縁部と体部の境に沈線1条、 明確な外縁あり。口縁部外面は横ナデ。体部外面 ヘラ磨り。内面は磨面の寛れ著しい。	
4	土師器 坏	床密着 %	口(13.3) 底 — 高 4.3	①細砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③によい黄褐色	口縁部は外傾。外縁は弱い。口縁部外面は横ナデ。 体部外面ヘラ磨り。内面は横ナデ後ヘラ磨き。	
5	土師器 坏	+6cm %	口(13.0) 底 — 高 4.7	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③によい褐色	外縁あり。底部にくぼみあり。口縁部外面は横ナ デ。体部ヘラ磨り後ヘラ磨き。内面はヘラ磨き。	
6	土師器 坏	覆土 %	口(10.7) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③淡黄色	口縁部は深く、底は浅い。口縁部は直立気味に立 ち上がる。口縁部外面は横ナデ。内面は丁寧な ヘラ磨き。体部へ底部の外面ヘラ磨り。	内面黒色処理

番号	土器種別 器	出土状況 保存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
7	土師器 高 環	覆土 脚部	口 — 底(14.4) 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	脚部外面へうけり後へう磨き、内面はナデ。脚部は内外面横ナデ。	
8	須恵器 高 環	覆土 坏底部	口 — 底 — 高 —	①白色細粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成形。坏部外面カキ目文、縦方向のカキ目。脚部の3カ所にスカシ孔。	
9	土師器 小型 環	+12cm 口縁部片	口(15.2) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、軟質 ③明赤褐色	口縁部は「く」の字状に外反する。口縁部は内外面横ナデ。胴部外面へうけり、内面へうナデ。	
10	土師器 壺	床密着 ほぼ球形	口 21.2 底 4.5 高 36.5	①粗粒砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へうけり後へう磨き、内面はへうナデ。	
11	土師器 壺	+6cm 口縁へ割部	口 21.9 底 — 高 —	①粗粒砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へうけり、内面はへうナデ。	
12	土師器 壺	床密着 口縁へ割部	口 21.2 底 — 高 —	①粗粒砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部は弓状に大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へうけり、内面はへうナデ。	

B-57号住居出土遺物観察表(第108・109図 P L 79)

番号	土器種別 器	出土状況 保存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 環	床密着 片	口 14.3 底 8.5 高 4.3	①微細砂粒・赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部内外面横ナデ。体部外面へうけり。	
2	土師器 環	床密着 片	口 13.8 底 8.2 高 —	①中砂粒・赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部内外面横ナデ。体部外面へうけり、中位に指環凹溝。	
3	土師器 環	ビット内 -3cm 片	口(17.5) 底 — 高 —	①細砂粒・赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部内外面横ナデ。体部外面へうけり。	
4	須恵器 環	+18cm 片	口(13.5) 底 10.0 高 3.4	①微細砂粒・黒色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	口縁部へ体部ロクロ成形後横ナデ。底部回転へうけり後右回転へうけり。	
5	須恵器 環	覆土 片	口 13.0 底(6.8) 高 3.8	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰色	口縁部へ体部ロクロ成形後横ナデ。底部手持ちへうけり。	
6	須恵器 環	覆土 片	口(14.1) 底(9.6) 高 4.1	①黒色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。底部右回転へうけり。ケズリ出し高台。	
7	須恵器 蓋	-4cm 片	口(21.4) 横 — 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③浅黄褐色	ロクロ成形。天井部は回転へうけり。	
8	土師器 小型 壺	床密着 口縁へ割部片	口 15.1 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は短く、外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へうけり、内面へうナデ。	
9	土師器 壺	+7cm 口縁へ割部片	口(35.6) 底 — 高 —	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③にぶい褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へうけり、内面ナデ。	
10	土師器 壺	竈煙道内 口縁へ割部片	口 22.4 底 — 高 —	①中砂粒・雲母・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい赤褐色	口縁部は直立気味に立ち上がる。口縁部内外面横ナデ、外面に輪痕。胴部外面へうけり。	
11	須恵器 兵 頸 蓋	覆土 胴部片	口 — 底 — 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。肩部に沈線2本。沈線間に縄文。	

1 住居跡出土遺物観察表

B-58号住居出土遺物観察表(第111・112図 P.L79・80)

番号	土器種別	出土状況 保存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 環	甕左脇 片	口 11.9 底 5.8 高 4.8	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。底部回転糸切り後手持りへう削り。	
2	須恵器 環	甕内 片	口 11.0 底 4.0 高 3.4	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。②酸化焰、良好 ③橙色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	
3	須恵器 環	北東隅 片	口 11.0 底 5.7 高 3.4	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③によい橙色	ロクロ成形。	表面の荒れが著しい。
4	須恵器 環	覆土 片	口(14.0) 底 (6.5) 高 4.8	①石英・黒色細粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③黄灰色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	内面の一部に傷付着。
5	土師器 環	甕左脇 片	口(15.2) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部外面横ナデ、以下へう削り。	内面の割傷が著しい。
6	須恵器 高台付塊	甕左脇 片	口 11.5 底 7.0 高 5.7	①微細砂粒・石英を含む。 ②酸化焰、良好 ③によい橙色	体部は内湾する。ロクロ成形。体部下半は回転へう削り調整。高台貼付。高台部内外面横ナデ。	体外面に傷付着。
7	須恵器 高台付塊	南東隅 ほぼ完形	口 12.0 底 7.0 高 4.2	①微細砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③によい黄橙色	ロクロ成形。右回転糸切り。高台貼付。高台部内外面横ナデ。	
8	須恵器 高台付塊	北西隅 片	口(13.5) 底 6.6 高 6.4	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③によい橙色	体部は内湾する。ロクロ成形。高台貼付。	
9	須恵器 高台付塊	甕左脇 片	口 14.5 底 5.8 高 8.0	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	体部は外傾する。ロクロ成形。高台貼付。高台部横ナデ。	
10	須恵器 高台付塊	北西隅 ほぼ完形	口 12.9 底 8.2 高 6.4	①細砂粒を多量に含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	体部は内湾し、口縁部は外反する。ロクロ成形。高台貼付。高台部内外面横ナデ。	
11	須恵器 高台付塊	甕左脇 片	口(13.8) 底 8.0 高 5.8	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	体部は内湾する。ロクロ成形。高台貼付。	
12	灰釉陶器 高台付塊	覆土 片	口 16.0 底 8.0 高 6.8	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	体部内湾。ロクロ成形。体部下半回転へう削り。底部ナデ調整。内外面に傷痕あり。内面に褐色の付着物(漆か)あり。施釉は漬け掛け。	体外面墨書か。虎渡山1号窯式
13	灰釉陶器 高台付塊	甕左脇 高台部	口 — 底 8.0 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。高台貼付。	虎渡山1号窯式
14	灰釉陶器 高台付塊	覆土 高台部	口 — 底 6.5 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。高台貼付。施釉は漬け掛け。	
15	灰釉陶器 高台付皿	覆土 片	口(12.5) 底 6.1 高 3.2	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。高台貼付。底部ナデ調整。施釉は漬け掛け。	虎渡山1号窯式
16	須恵器 羽蓋	甕左脇 口縁~胴部	口(18.0) 底 — 高 —	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。②酸化焰、良好 ③浅黄色	口縁部は内傾する。肩は断面三角形で短い。	
17	須恵器 羽蓋	口縁部 片	口(16.4) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰黄褐色	肩は断面三角形を呈し、口縁部は内傾する。	

B-64号住居出土遺物観察表(第114図 P L80)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+14cm %	□11.8 底— 高3.5	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外傾し、口唇部の器内が薄い。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	
2	土師器 坏	覆土 %	□13.1 底— 高4.5	①微細砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外傾し、体部との境及び口縁部中央の2箇所に強い稜を持つ。口縁部内外面横ナデ。体部ヘラ削り。	
3	土師器 斐	+2cm 底部欠	□22.0 底— 高—	①微細砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③赤褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。頸部外面に指頭圧痕。胴部外面縦方向のヘラ削り、内面ヘラナデ。	胴部に黒斑がある。
4	土師器 斐	+2cm 口縁→胴部	□22.8 底— 高—	①微細砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り。	

B-65号住居出土遺物観察表(第115図)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 斐	覆土 口縁→胴部	□(24.5) 底— 高—	①粗砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、空焼 ③によい橙色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	

B-66号住居出土遺物観察表(第118図 P L80)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
							計 測 値 (cm・g)	
			全長	幅	厚き	重量	石 材	特 徴
1	土師器 坏	床密着 %	□(13.7) 底(8.5) 高4.7	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部外面横ナデ。体部→底部の外面ヘラ削り。内面は放射状ヘラ磨き。			
2	土師器 坏	+2cm %	□(13.4) 底(9.5) 高—	①緻密 ②酸化焰、良好 ③橙色	口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。内面は横ナゲ放射状ヘラ磨き。			
3	須恵器 坏	-5cm %	□(14.8) 底(9.4) 高3.8	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。体部外面下部回転ヘラ削り。底部手持ちヘラ削り。			
4	須恵器 蓋	床密着 %	□15.0 横— 高—	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。天井部回転ヘラ削り調整。天井部の器内が厚い。内面が転用として使用され、中央部が摩耗している。			
5	土師器 台付甕	+4cm %	□(11.2) 底— 高—	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、良好 ③赤褐色	口縁部は緩やかに外反する。胴部は中位で大きく張る。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ナデ。			
6	磁 石	覆土 完形	12.1	3.5	3.0	254.9	流紋岩	自然石の4面を使用している。

B-67号住居出土遺物観察表(第120・121図 P L80・81)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+8cm ほぼ完形	□14.2 底— 高5.5	①微細砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③によい橙色	口縁部は内傾する。外縁は明瞭。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面に指頭圧痕。	

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
							計	測 値 (cm・g)
			全長	幅	厚さ	重量		
2	土 師 器 坏	床密着 ほぼ完形	口 14.4 底 — 高 4.1	①微細砂粒・角閃石・雲母を含む。②酸化焰、良好③灰褐色	口縁部は直立気味に立ち上がる。外縁は弱い。口縁部外面横ナデ。体部外面へう削り。内面は口縁へ体部に横方向のナデ。	内外面に煤付着。		
3	土 師 器 坏	+19cm ほぼ完形	口 11.8 底 — 高 4.2	①緻密 ②酸化焰、やや軟質 ③褐色	口縁部は外傾する。外縁は弱い。口縁部内外面横ナデ。体部外面へう削り、内面に指摺痕。	器形の歪みが著しい。		
4	土 師 器 坏	覆土 片	口(15.4) 底 — 高 3.6	①赤色細粒を含む。②酸化焰、良好③褐色	口縁部は端部で短く内傾する。外縁あり。口縁部外面横ナデ。体部外面へう削り。内面は横ナデ。			
5	土 師 器 坏	+5cm 片	口(14.1) 底 — 高 —	①微細砂粒・雲母を含む。②酸化焰、良好③褐色	口縁部は短く僅かに外傾する。口縁部外面横ナデ。体部外面へう削り。内面は横ナデ。			
6	土 師 器 小型 壺	床密着 口縁～底部	口(12.7) 底 — 高 —	①細砂粒・雲母を含む。②酸化焰、良好③によい褐色	口縁部は短く直立気味。口縁部は内外面横ナデ。体部へう削り。			
7	土 師 器 壺	+13cm 胴部～底部	口 — 底 9.5 高 —	①微細砂粒・雲母を含む。②酸化焰、緊緻③によい褐色	大型の丸胴の壺と思われる。胴部外面へう削り、内面へうナデ。			
8	土 師 器 壺	+11cm 片	口(17.5) 底 5.0 高 29.8	①粗砂粒・小石を含む。②酸化焰、良好③赤褐色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面底部→口縁部に向かって縦方向のへう削り、内面へうナデ。			
9	土 師 器 壺	+17cm 口縁～胴部	口(21.1) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。②酸化焰、軟質③褐色	丸胴の壺。口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へう削り、内面へうナデ。			
10	土 師 器 壺	+11cm 口縁～胴部	口(31.2) 底(11.7) 高 34.9	①粗砂粒・小石を含む。②酸化焰、良好③褐色	口径が大きく、口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面縦方向のへう削り、内面に縦方向のへうナデ。底部付近は横方向。			
11	土 師 器 壺	+2cm 胴部～底部	口 — 底 4.4 高 —	①粗砂粒含む。②酸化焰、良好③によい褐色	底部に径0.5cm程度の小孔15個ある。胴部及び底部外面へう削り、内面へうナデ。			
番号	器 種	出土状況 残存状況	計 測 値 (cm・g)				石 材	特 徴
			全長	幅	厚さ	重量		
12	砥 石	+4cm 完形	17.8	8.4	5.6	1,605.3	黄灰岩	3面に研磨の痕跡がある。
13	白 玉	覆土 完形	径1.1	孔径0.3	0.7	1.3	滑石	穿孔は中央から大きくずれている。

B-68号住居出土遺物観察表(第123図 P L81)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土 師 器 坏	+23cm 完形	口 12.3 底 — 高 4.3	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。②酸化焰、良好③淡黄色	丸底を呈する。口縁部は僅かに内傾する。口縁部内外面横ナデ。体部外面へう削り。	内面に煤状の付着物あり。
2	土 師 器 坏	覆土 片	口(13.0) 底 — 高 —	①緻密 ②酸化焰、良好③褐色	丸底を呈する。口縁部は外傾する。口縁部内外面横ナデ。体部外面へう削り。	

B-69号住居出土遺物観察表(第126図 P L81)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土 師 器 坏	-4cm 片	口(11.2) 底 — 高 3.4	①微細砂粒を含む。②酸化焰、良好③褐色	丸底を呈する。口縁部は直立気味に立ち上がる。口縁部内外面横ナデ。体部外面へう削り。	

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
2	土 師 器 環	床密着 片	口(10.8) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	丸底を呈する。口縁部内外面横ナデ。体部ヘラ削り。	
3	土 師 器 甕	+10cm 口縁部片	口(19.5) 底 — 高 —	①中砂粒・黒色鉱物・赤色細粒を含む。②酸化焰、良好③にぶい黄褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。胴部外面ヘラ削り、内面ナデ。	
4	土 師 器 甕	-3cm 口縁部片	口(21.1) 底 — 高 —	①中砂粒・黒色鉱物・雲母を含む。②酸化焰、良好③褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
5	土 師 器 甕	床密着 口縁へ割部	口 19.4 底 — 高 —	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	

B-70号住居出土遺物観察表(第128図 P L 81・82)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土 師 器 環	南西隅 +9cm 片	口 11.5 底 — 高 3.8	①緻密 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は外傾する。外縁は明瞭。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面に指頭圧痕。	
2	土 師 器 環	+3cm 片	口(12.8) 底 — 高 4.5	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや弱 ③にぶい褐色	口縁部は外傾する。外縁は明瞭。口縁部内外面横ナデ後ヘラ磨き。体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、内面ヘラ磨き。	
3	土 師 器 環	南西隅 +14cm 片	口(14.0) 底 — 高 —	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	口縁部は外傾する。外縁は明瞭。体部と口縁部の境に棒状工具による沈線2条。口縁部内外面横ナデ後ヘラ磨き。体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、内面ヘラ磨き。	内面黒色処理
4	土 師 器 環	+8cm 片	口(13.4) 底 — 高 —	①赤色細粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	口縁部は外傾する。外縁は弱い。口縁部外面横ナデ。口縁へ体部内面横ナデ後ヘラ磨き。体部外面ヘラ削り。	内面黒色処理
5	土 師 器 環	+6cm 片	口(13.6) 底 (7.5) 高 6.2	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は外傾し、体部との境に弱い外縁がある。胴部は胴部で大きく開く。口縁部外面横ナデ。体部へ胴部外面ヘラ削り、胴部内外面横ナデ。環部内面横ナデか。胴部内面はヘラナデ。	
6	土 師 器 小型 甕	床密着 口縁へ割部欠	口 11.6 底 — 高 10.8	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	底部は丸底を呈する。口縁部は短く僅かに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。指頭圧痕。	内面黒色処理
7	土 師 器 小型 甕	床密着 片	口(11.1) 底 (4.9) 高 11.6	①極粗砂粒・黒色鉱物を 含む。②酸化焰、軟質 ③にぶい赤褐色	口縁部は内傾する。口縁部は内外面横ナデ。胴部と底部の外面ヘラ削り。胴部内面は丁寧な調整。	内面黒色処理
8	土 師 器 小型 甕	床密着 片	口(14.7) 底 — 高 13.5	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	丸底を呈する。丸胴の小型甕。口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
9	土 師 器 甕	南西隅 +13cm 口へ割部	口 21.3 底 3.6 高 37.1	①極粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
10	土 師 器 甕	床密着 片	口 20.4 底 (5.2) 高 32.3	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面、底部へ口縁部に向かって縦方向のヘラ削り。胴部内面ヘラナデ。	
11	土 師 器 甕	+2cm 口縁へ割部	口 22.0 底 — 高 —	①極粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面縦方向のヘラ削り、内面ヘラナデ。	
12	土 師 器 甕	床密着 口縁へ割部	口 23.6 底 — 高 —	①粗砂粒・白色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	

I 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
13	土器 壺	+10cm 口縁一部 土位片	口(21.4) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面縦方向のへら削り、内面ヘラナデ。	

B-71号住居出土遺物観察表(第130図 P L 82)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土器 器 環	+9cm 片	口(13.0) 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	底部は丸底を呈する。口縁部横ナデ。体部外面へら削り。	
2	土器 壺	+7cm 口縁一部 部片	口(22.8) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面縦方向のへら削り、内面横方向のヘラナデ。	
3	土器 壺	+23cm 口縁片	口(23.8) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面に指痕圧痕。胴部外面へら削り。	

B-72号住居出土遺物観察表(第132図 P L 82)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土器 器 環	覆土 片	口(12.8) 底(7.3) 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り。底部外面へら削り。	
2	須恵器 高台付 転用環	覆土 底部	口 — 底 11.6 高 —	①黒色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③褐色	ロクロ成形。底部回転へら削り調整。内面が転用環として使用され摩耗している。	

B-73号住居出土遺物観察表(第133図)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 小型 環	覆土 口縁片	口(10.0) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、やや堅緻 ③褐色	小型の環の小破片。ロクロ成形。	

B-74号住居出土遺物観察表(第135図 P L 82)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土器 器 環	+49cm 片	口 15.3 底 — 高 4.5	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③によい褐色	口縁部は外傾する。口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り。	
2	土器 器 環	+14cm 片	口 13.4 底 — 高 4.3	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は内傾する。口縁部内外面横ナデ。体部外面へら削り。	
3	土器 器 環	覆土 片	口(15.0) 底(10.8) 高(4.3)	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③褐色	口縁部は外傾する。口縁部外面横ナデ。体部～底部外面へら削り。内面は口縁部～底面に横ナデ後放射状へら削り。	

B-71・72・73・74・76・78・80号住居出土遺物

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
4	土器 坏	—3cm 瓦	口(14.0) 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	口縁部は外傾する。口縁部外面横ナデ、指頭圧痕あり。体部外面へラ削り。内面は口縁部～底面に横ナデ後放射状へラ磨き。	
5	土器 坏	+42cm 瓦	口(10.8) 底 6.8 高 3.8	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	平底。口縁部内外面横ナデ。体部外面へラ削り。	
6	土器 坏	覆土 ほぼ完整	口 14.4 底 8.2 高 4.0	①粗砂粒・雲母・黒色鉱物を含む。②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は内湾する。口縁部内外面横ナデ。体部外面へラ削り。	
7	土器 鉢?	+29cm 口縁～胴 上位瓦	口(27.8) 底— 高—	①粗砂粒・雲母を含む。②酸化焰、やや堅緻 ③褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。体部外面へラ削り、内面はヘラナデ。	
8	土器 壺	+49cm 口縁瓦	口(22.2) 底— 高—	①粗砂粒・雲母を含む。②酸化焰、堅緻 ③にぶい褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面ヘラナデ。	

B-76号住居出土遺物観察表(第137図 P L82)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土器 皿	覆土 瓦	口(15.2) 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	浅い皿。口縁部外面横ナデ。体部外面へラ削り。口縁部～体部内面横ナデ後放射状へラ磨き。	
2	土器 壺	覆土 瓦	口(22.0) 底— 高—	①極細砂粒・黒色鉱物を含む。②酸化焰、良好 ③明赤褐色	丸胴の壺の口縁部片と思われる。口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面ヘラナデ。	

B-78号住居出土遺物観察表(第139・140図 P L82・83)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考	
1	土器 坏	覆土 床密着 口縁部欠	口— 底— 高—	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい黄褐色	底部の器内が極めて厚い。口縁部外面横ナデ。体部外面へラ削り、内面ナデ。		
2	土器 瓶	+9cm 瓦	口 13.2 底 4.4 高 13.2	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③にぶい黄褐色	器形に歪みがある。口縁部は僅かに外反する。底部に径2.1cmの円孔。口縁部内外面横ナデ。胴部外面縦方向へのラ削り、内面ヘラナデ。	内面黒色処理	
3	土器 瓶	床密着 瓦	口 24.6 底 (9.4) 高 35.4	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面は底部→口縁部に向かって縦方向へのラ削り、内面はヘラナデ。		
番号	器種	出土状況 残存状況	計 測 値 (cm・g)			石 材	特 徴
			全長	幅	厚さ		
4	砥石	覆土 瓦	11.5	8.5	3.4	403.0	砂岩 両面に研磨痕。
5	石皿?	覆土 完整	10.4	10.2	3.1	434.4	実質安山岩 表面に凹状のくぼみをつけて使用。

B-80号住居出土遺物観察表(第143図 P L83)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土器 坏	+22cm 瓦	口(10.7) 底— 高(3.2)	①微細砂粒・雲母を含む。②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	転用品と思われる小型の坏。体部外面へラ削り、内面ナデ調整。口縁部は摺って平らにしている。	

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
2	土器 器 環	竈左 — 3cm ほぼ完形	口 14.5 底 — 高 3.8	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	転用品と思われるやや大型の環。体部外面へう割り、内面ナデ。口縁部は揃って平らにしている。	
3	土器 器 鉢	+21cm ほぼ完形	口 13.6 底 — 高 4.5	①赤色顔料を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③褐色	口縁部は内湾する。外縁は明瞭。口縁部は内外面横ナデ。体部外面へう割り、内面に指頭圧痕。	
4	土器 器 環	+22cm %	口(12.5) 底 — 高(4.5)	①赤色顔料を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③洗黄褐色	口縁部は内湾する。外縁は明瞭。口縁部内外面横ナデ。体部外面へう割り、内面にへうあて痕。	
5	土器 器 埴	貯蔵穴周 辺末密着 ほぼ完形	口 12.6 底 — 高 11.1	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③洗黄褐色	口縁部は内傾する。口縁部と体部との境に明瞭な外縁。体部上部に焼成後の小円孔あり。口縁部内外面横ナデ。体部外面へう割り、内面ナデ。	
6	土器 器 鉢	貯蔵穴上 部—4cm ほぼ完形	口 23.1 底 — 高 8.0	①極粗砂粒・雲母・黒色 泥物を含む。②酸化焰、 良好③にぶい赤褐色	丸底を呈する大型の鉢。体部外面へう割り後へう磨き。口縁部内面横ナデ、体部内面へうナデ。	転用品か?
7	土器 小型 器	甍石貼 —4cm ほぼ完形	口 12.7 底 5.5 高 12.2	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、軟質 ③褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へう割り、内面へうナデ。	
8	土器 小型 器	貯蔵穴上 部—8cm ほぼ完形	口 14.6 底 6.6 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は僅かに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部—底部の外面はへう割り、内面へうナデ。	
9	土器 器 甍	甍石貼 +7cm 底部欠	口 21.1 底 — 高 —	①極粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ、外面にへうあて痕。胴部外面下位—口縁部に向かって縦方向のへう割り、内面へうナデ。	
10	土器 器 甍	甍内 床密着 口—底部	口 — 底 6.2 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明褐色	胴部—底部の外面へう割り、内面へうナデ。	
11	土器 器 鉢	貯蔵穴周 辺+18cm 口—胴部	口(23.2) 底 — 高 —	①粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へう割り、内面ナデ。	
12	土器 器 甍	貯蔵穴周 辺+4cm ほぼ完形	口 17.5 底 12.7 高 7.6	①粗砂粒・赤色顔料を含 む。②酸化焰、やや堅緻 ③にぶい褐色	口縁部は僅かに外反する。底部に11個の小円孔あり。口縁部は内外面横ナデ。胴部—底部の外面へう割り、内面ナデ。	

B—81号住居出土遺物観察表(第144図 P L84)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土器 器 環	覆土 %	口(14.3) 底 — 高 5.2	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	体部は内湾し、口縁部は僅かに外傾する。口縁部内外面横ナデ。体部外面へう割り、内面ナデ後へう磨き。	
2	須恵器 器 鉢	+3cm %	口(11.8) 底 — 高 4.9	①細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰色	口縁部は内傾する。回転へう割り調整。底部にへう記号。	
3	須恵器 器 鉢	+2cm %	口(11.8) 底 — 高 3.9	①細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰色	口縁部は内傾する。回転へう割り調整。	
4	土器 高 器 環	床密着 %	口(18.4) 底 — 高 —	①中砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	高環の環部。口縁部は大きく外反する。体部は浅い。口縁部内外面横ナデ後へう磨き。体部外面へう割り。	
5	土器 高 器 環	+12cm 脚部	口 — 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	高環の脚部。外面へう割り後へう磨き。内面ナデ、下部に輪痕み痕、指頭圧痕あり。	下部は2次的に火を受けている。
6	土器 小型 器	床密着 口縁—胴 上位%	口(14.4) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へう割り、内面へうナデ。	

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
7	土 師 器 罍	床密着 片	口(15.0) 底 6.7 高 22.8	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③褐色	折り返し口縁。胴部は中位で大きく膨らむ。口縁部内外面横ナデ。胴部外面斜め方向のヘラ削り、内面ヘラ削り。底部外面無調整。			
8	土 師 器 甕	+4cm 口縁→胴 中位片	口 24.4 底(11.0) 高 24.9	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ、胴部外面は縦方向のヘラ削り、内面ヘラナデ。			
番号	器 種	出土状況 残存状況	測 値(cm・g)				石 材	特 徴
			全 長	幅	厚 さ	重 量		
9	蔵 石	覆土 完形	9.0	5.1	2.2	99.3	頁岩	全面丁寧に磨ってある。先端部に使用痕。
10	白 玉	床下 完形	径0.8	孔径0.3	0.4	0.6	滑石	側面は丁寧に研磨。上下面平坦。中央に穿孔。

B-82号住居出土遺物観察表(第149図 P L84・85)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土 師 器 罍	室内 口縁欠片	口 13.2 底 - 高 3.9	①細砂粒・白色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	平底に近い丸底。口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面放射状ヘラ磨き。	
2	土 師 器 坏	+5cm 口縁片	口 12.7 底 - 高 3.7	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	平底に近い丸底。口縁部は外傾する。口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	内面は器面が荒れている。
3	土 師 器 坏	+6cm 片	口(14.4) 底 - 高 4.5	①微細砂粒・赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	平底に近い丸底。口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。口縁部→体部内面横ナデ後放射状ヘラ磨き。	
4	土 師 器 坏	+9cm 片	口(14.8) 底 - 高 4.6	①微細砂粒・赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	平底に近い丸底。口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。口縁部→体部内面横ナデ後放射状ヘラ磨き。	
5	土 師 器 罍	室内 底部欠	口 23.6 底 - 高 -	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は短く外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面斜下位→口縁部に向かって縦方向のヘラ削り、斜下位→底部に向かって斜め方向ヘラ削り。内面ヘラナデ。	口縁→胴上位に火を受けた痕跡。
6	土 師 器 罍	室内 口縁→胴 部	口(24.6) 底 - 高 -	①中砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面下位→口縁部に向かって縦方向のヘラ削り、下位→底部に向かって斜め方向のヘラ削り。内面はナデ調整。	
7	土 師 器 罍	室内 口縁→胴 部	口 23.0 底 - 高 -	①中砂粒・赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面斜上位→口縁部は縦方向のヘラ削り、胴上位→底部に向かってヘラ削り。内面ヘラナデ。	
8	土 師 器 罍	室内 底部欠	口 22.4 底 - 高 -	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面上位横方向のヘラ削り、中位→下位は斜め方向のヘラ削り。胴部内面ヘラナデ。	斜下位に火を受けている。

B-83号住居出土遺物観察表(第15・16図 P L85)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土 師 器 坏	室内 床密着 片	口 13.5 底 - 高 4.1	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にょい褐色	口縁部外面横ナデ、指頭圧痕。体部→底部外面ヘラ削り。口縁部→体部内面横ナデ後放射状ヘラ磨き。底部内面は螺旋状の暗文。	
2	土 師 器 坏	貯蔵穴付 近床密着 片	口(12.6) 底 - 高 4.0	①微細砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③にょい褐色	口縁部横ナデ。体部ヘラ削り。	内面は器面の荒れが著しい。

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別	出土状況 埋存状況	法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
3	土師器 坏	+18cm 片	口(12.8) 底— 高 3.9	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、口縁部～体部内面は横ナデ後放射状ヘラ磨き。	
4	土師器 坏	+26cm 片	口— 底(7.5) 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	体部外面ヘラ削り、内面は横ナデ後放射状ヘラ磨き。	
5	土師器 坏	+20cm 片	口 13.4 底 10.0 高 3.5	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は内湾する。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面に指頭圧痕。	
6	須恵器 坏	+34cm ほぼ完整	口 12.6 底 7.6 高 3.9	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	口縁部～体部回転ヘラ削り調整。底部回転ヘラ切り後回転ヘラ削り調整。外面に自然釉。器形に歪みあり。	
7	須恵器 坏	+17cm 片	口(12.3) 底 9.0 高 2.9	①黒色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	底部回転ヘラ切り後回転ヘラ削り調整。	外面に火だすき痕。
8	土師器 甕	覆土 口縁～胴 上位片	口(19.6) 底— 高—	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。外面に指頭圧痕。胴部外面ヘラ削り、内面はヘラナデ。	
9	土師器 甕	覆土 口縁～胴 上半片	口(19.8) 底— 高—	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。外面に指頭圧痕。胴部外面ヘラ削り、内面はヘラナデ。	
10	土師器 甕	電付近 口縁～胴 上位	口(22.6) 底— 高—	①細砂粒・炭屑を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	丸胴の大型の甕と思われる。口縁部は僅かに外反し、端部で内傾する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面はヘラナデ。	
11	土師器 甕	+4 cm 口縁～胴 上半	口(20.0) 底— 高—	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③褐色	丸胴の大型の甕と思われる。口縁部は直立気味に立ち上がる。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面はヘラナデ。	
12	土師器 甕	+12cm 口縁～胴 上位片	口(19.8) 底— 高—	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③黄褐色	丸胴を呈する大型の甕と思われる。口縁部は短く、緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
13	土師器 甕	+4 cm 胴部のみ	口— 底— 高—	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	丸胴の大型甕の胴部。外面ヘラ削り、内面ナデ調整。	
14	土師器 甕	覆土 口縁～胴 上位	口(23.6) 底— 高—	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③によい褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
15	土師器 甕	-10cm 口縁～胴 上位	口(19.5) 底— 高—	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	胴部の外面に砥付着。

B-84号住居出土遺物観察表(第18回 P L 85)

番号	土器種別	出土状況 埋存状況	法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+19cm 片	口(13.5) 底(9.2) 高 4.4	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③淡黄褐色	口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。内面の口縁部～体部ヘラ磨き。	
2	須恵器 坏	覆土 片	口 11.8 底 8.0 高 3.8	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。底部はヘラ切り。	
3	土師器 甕	+24cm 口縁片	口(21.0) 底— 高—	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部内外面横ナデ。体部内面はヘラナデ。	
4	土師器 甕	+24cm 口縁片	口(25.7) 底— 高—	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	

B-88号住居出土遺物観察表(第151図 P L86)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土 師 器 甕	+3cm 片	口(20.0) 底(7.2) 高 27.1	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明褐色	口縁部は緩やかに外反する。胴部は内外面へう割り後へう磨き。	

B-89号住居出土遺物観察表(第151図 P L86)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土 師 器 坏	覆土 片	口(13.4) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にじい褐色	口縁部は内外面横ナデ。体部外面へう割り、内面へう磨き。	
2	土 師 器 甕	覆土 片	口(17.1) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へう割り、内面へうナデ。	
3	土 師 器 甕	覆土 口縁部片	口(21.6) 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にじい褐色	口縁部の小破片。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へう割り、内面へうナデ。	

B-91号住居出土遺物観察表(第154図 P L86)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須 恵 器 坏 身	覆土 口縁へ割 上半片	口(13.0) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	口縁部は内傾する。外縁は明瞭。回転へう割り。口縁部に自然軸。	
2	須 恵 器 坏 身	覆土 口縁部欠 片	口 — 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰褐色	口縁部は内傾する。外縁は明瞭。回転へう割り。	
3	土 師 器 甕	覆土 口縁へ割 上半片	口(20.0) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③浅黄褐色	口縁部は僅かに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へう割り。	

B-92号住居出土遺物観察表(第154図 P L86)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土 師 器 坏	電付近 +2cm 片	口 13.0 底 9.2 高 4.0	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にじい褐色	口縁部外面は面とりのりへう割り、横方向の沈線1条。体部外面へう割り。内面は口縁部へ体部横ナデ後放射状へう磨き。	
2	土 師 器 甕	電付近 床密着 口へ割部	口 21.3 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。外面に指頭圧痕。胴部外面へう割り、内面へうナデ。	
3	土 師 器 甕	電付近 片	口(21.0) 底 5.2 高 29.0	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③浅黄褐色	口縁部は緩やかに外反する。胴部は上位で膨らむ。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へう割り、内面へうナデ。	
4	土 師 器 甕	電付近 床密着 口へ割部	口 21.8 底 — 高 —	①微細砂粒・黒色鉱物を 含む。②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へう割り、内面へうナデ。	

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
5	土器 壺	甕付近 床密着 口～胴部	口 22.0 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ、 指痕圧痕。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	
6	土器 壺	床密着 口～胴上	口(16.9) 底 — 高 —	①微細砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	丸胴の壺と思われる。口縁部は短く外反する。口 縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面へラ ナデ。	

B-93号住居出土遺物観察表(第156図 P L86)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土器 杯	+4cm 片	口(14.3) 底 — 高 4.6	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、やや軟質 ③にぶい褐色	口縁部は直立する。体部との境に外縁がある。口 縁部内外面横ナデ。体部外面へラ削り。	内外面に保付 着。黒色処理あり。
2	土器 杯	-2cm 片	口(15.1) 底 — 高 —	①細砂粒・黒色鉱物を含 む。②酸化焰、軟質 ③淡黄褐色	口縁部は外傾する。外縁は明瞭。口縁部内外面横 ナデ。体部外面へラ削り。	内外面に保付 着。黒色処理あり。
3	土器 高 杯	床密着 胴部	口 — 底(14.8) 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③褐色	胴部は「ハ」の字状に外開する。上部に接合部の 棒状のホゾが観察できる。外面へラ削り後へラ磨 き、内面ナデ。底部内外面横ナデ。	
4	土器 壺	+6cm 口縁～胴 上半片	口(16.5) 底 — 高 —	①粗砂粒・黒色鉱物・赤 色鉱粒を含む。②酸化焰、 良好③にぶい黄褐色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部は内外面横ナ デ。胴部外面縦方向のへラ削り、内面へラナデ。	

B-95号住居出土遺物観察表(第159図 P L86)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土器 罐	覆土 口縁部欠	口 — 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	体部に焼成前の穿孔あり。	
2	土器 小 型 壺	覆土 口縁～胴 部片	口(14.5) 底 — 高 —	①粗砂粒・赤色鉱粒を含 む。②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は短く、内傾する。胴部は丸胴を呈する。 口縁部は内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面 へラナデ。	
3	土器 壺	覆土 口縁～胴 部片	口(20.0) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は外反する。口縁部は内外面横ナデ。胴部 外面へラ削り、内面ナデ。胴部に輪痕あり。	

B-100号住居出土遺物観察表(第161図 P L87)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土器 杯	床密着 片	口 13.2 底 — 高 3.2	①微細砂粒・赤色鉱粒を 含む。②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	口縁部は緩やかに外傾する。口縁部内外面横ナデ。 底部外面へラ削り、内面ナデ。	
2	須恵 壺	床密着 胴部片	口 — 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③灰白色	外面平行卑目文。内面青黄斑文。	

B-102号住居出土遺物観察表(第164・165図 P L87)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
							計	値(cm・g)
		全長		幅	厚さ	重量		
1	須恵器 高台付埴	+3cm ㄥ	口14.0 底(6.5) 高4.9	①黒細砂粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰黄色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。高台貼付。高台部横ナゲ。			
2	須恵器 埴	窠内 +2cm ㄥ	口12.7 底4.0 高5.7	①白色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰黄褐色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。口縁部に歪みあり。			
3	須恵器 埴	貯蔵穴内 -24cm ㄥ	口(13.6) 底4.0 高6.5	①白色細粒を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	口縁部に傷付着。		
4	土師器 埴	窠付近 +5cm 口~胴部	口(17.6) 底— 高—	①黒細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③明赤褐色	口縁部は「コ」の字状を呈す。口縁部内外面横ナゲ。胴部外面へナゲ削り、内面ヘラナゲ。			
5	土師器 埴	+7cm 口縁~胴 上半ㄥ	口(19.1) 底— 高—	①黒細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③にじみ褐色	口縁部は「コ」の字状を呈す。口縁部内外面横ナゲ。胴部外面へナゲ削り、内面ヘラナゲ。			
6	土師器 埴	+5cm 口縁部 ㄥ	口(16.4) 底— 高—	①黒細砂粒・黄母を含む。 ②還元焰、良好 ③褐色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナゲ、外面に指頭圧痕。胴部外面へナゲ削り、内面ヘラナゲ。			
7	須恵器 埴	床密着 口縁~胴 上位ㄥ	口(27.0) 底— 高—	①中砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。胴部外面平行タケ目、内面に青黒波文のアテ目。内面の口縁部と胴部の境に接合痕あり。			
8	灰輪陶器 長頸壺	床密着 胴下半~ 底部ㄥ	口— 底(10.5) 高—	①緻密 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成形。胴部外面及び底部は回転へナゲ削り。高台貼付。			
番号	器種	出土状況 残存状況	計 値(cm・g)				石材	特徴
		全長		幅	厚さ	重量		
9	灰 磨石	+5cm 一部欠	15.5	6.7	4.5	823.1	粗粒安山岩	熱を受けた痕跡あり。上下に敲打痕が見られる。平坦面は磨石として使用か。

B-103号住居出土遺物観察表(第167図 P L87)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 高台付埴	+19cm 底~高台 部	口— 底(6.5) 高—	①黒細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰黄褐色	ロクロ成形。底部糸切り。高台貼付。内面黒色処理後丁寧なへナゲ磨き。	内面黒色処理
2	須恵器 埴	-16cm 口縁部片	口(26.0) 底— 高—	①粗砂粒を含む。 ②還元焰、やや硬質 ③淡黄褐色	ロクロ成形。口縁部は内傾する。胴は断面三角形を呈する。	

B-109号住居出土遺物観察表(第169図 P L87)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 埴	床密着	口(11.6) 底(7.6) 高3.5	①黒細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③褐色	口縁部内外面横ナゲ。体部外面へナゲ削り。	
2	須恵器 埴	窠土 口縁部欠 ㄥ	口— 底(8.3) 高—	①緻密 ②還元焰、やや堅緻 ③褐色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
3	須恵器 壺	+5cm 口縁部片	口(23.6) 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	頸部へ口縁にかけて、「く」の字状に外反する。口縁部内外面横ナデ、外面に指痕圧痕。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	
4	須恵器 長頸壺	覆土 口縁一部 部片	口(10.2) 底— 高—	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰オリーブ色	口クロ成形。内外面に自然釉。	

B-110号住居出土遺物観察表(第172図 P L87)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考	
1	土器 壺	+7cm 完形	口 12.0 底 7.5 高 3.7	①粗砂粒、6mmの小石を含む。②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部内外面横ナデ。体部外面へラ削り。		
2	須恵器 壺	灰密着 ほぼ完形	口 13.4 底 6.0 高 3.8	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰白色	口クロ成形。右回転糸切り。		
3	須恵器 壺	覆土 片	口(13.4) 底(8.0) 高 3.6	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰色	口クロ成形。右回転糸切り。		
4	土器 壺	埋込内 +4cm 口一部	口(22.7) 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ、外面に指痕圧痕。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。		
5	土器 台付壺?	灰密着 口縁片	口(13.4) 底— 高—	①微細砂粒・角閃石を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部内外面横ナデ、外面に指痕圧痕。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。		
番号	器種	出土状況 残存状況	計 量 (cm・g)				特 徴
6	鉄製品 刀子	電内 灰密着片	全長 (12.7)	幅 1.3	厚さ 0.5	重量 8.9	錆化の進行が著しく、検区と対区は明確に確認できない。

B-117号住居出土遺物観察表(第175図 P L88)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 小型壺	電周辺 片	口(9.0) 底(4.3) 高 2.8	①緻密 ②酸化焰、良好 ③褐色	口クロ成形。底部は荒れている。	
2	須恵器 小型壺	電周辺 片	口(10.0) 底(4.0) 高 3.3	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③よい褐色	口クロ成形。左回転糸切り。	
3	須恵器 高台付壺	電周辺 片	口 13.5 底— 高—	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③褐色	口クロ成形。底部糸切り。体部は内湾気味に立ち上がる。内面丁寧なへラ磨き。高台貼付。高台部横ナデ。	
4	須恵器 高台付壺	覆土 片	口(9.9) 底 5.5 高 3.1	①黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口クロ成形。体部横ナデ。高台貼付。	
5	須恵器 高台付壺	覆土 片	口(9.9) 底(5.3) 高 3.0	①緻密 ②酸化焰、良好 ③褐色	口クロ成形。体部横ナデ。高台貼付。	

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
6	須恵器 壺	電周辺 胴上位～ 底部	口 — 底 16.8 高 —	①砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③褐色	ロクロ成形(左回転)後、ヘラ磨き。高台貼付。	
7	須恵器 羽蓋	電周辺 口縁部	口(22.0) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③褐色	ロクロ成形。口縁部は僅かに内傾する。	

B-125号住居出土遺物観察表(第178図 P L88)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 小型 環	床下覆土 片	口 9.6 底 4.0 高 3.2	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③洗貝褐色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。底部の器内が厚い。	
2	須恵器 環	電前部 +9cm 片	口(14.9) 底 5.2 高 4.8	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、良好 ③におい褐色	ロクロ成形。内面ヘラ磨き。	
3	須恵器 羽蓋	電内 —4cm 片	口(20.2) 底 — 高 —	①細砂粒・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③におい褐色	ロクロ成形。口縁部横ナデ。胴部外面ヘラ磨き後ヘラ磨き、内面ナデ。	
4	灰輪陶器 小 瓶	覆土 胴部～胴 上半片	口 — 底 — 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。外面に施釉。	

B-126号住居出土遺物観察表(第181図 P L88)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 環	+2cm 片	口(12.8) 底(7.0) 高 3.6	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③におい褐色	ロクロ成形。底部右回転糸切り後一部に粘土貼付。	
2	須恵器 高台付 埴	+6cm 片	口 14.7 底 7.2 高 6.0	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	ロクロ成形。体部は内湾気味に立ち上がり、口縁部は僅かに外反する。体部内面ヘラ磨き。底部右回転糸切り高台貼付。高台部内外面横ナデ。	内面及び口縁外側黒色処理。
3	須恵器 高台付 埴	覆土 片	口(14.2) 底(8.0) 高 5.3	①微細砂粒・石英を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰色	ロクロ成形。底部回転糸切り。高台貼付。高台部内外面横ナデ。	
4	灰輪陶器 高台付 埴	床密着 底部片	口 — 底(7.7) 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。体部下半～底部回転ヘラ磨き調整。高台貼付。高台部内外面横ナデ。内面は摩耗、2か所に朱の痕跡。	
5	須恵器 小型 壺	+4cm 片	口(11.5) 底(7.5) 高 13.0	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや硬質 ③におい褐色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面はロクロ成形後ヘラ状工具による横ナデ。底部は手持ちヘラ磨き調整。底部内面の中央に粘土貼付。	内面黒色処理
6	土器 壺	+2cm 片	口 19.7 底 4.0 高 23.8	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや硬質 ③におい褐色	口縁部内外面横ナデ。口縁部内外面横ナデ、口唇部に沈線1条。胴部外面に指頭圧痕。胴部外面ヘラ磨き。内面ヘラナデ。底部内面にヘラ押しえ痕。	
7	須恵器 片	—3cm 口一部欠	口 23.1 底 12.0 高 16.0	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形。胴下部回転ヘラ磨き調整。底部外面手持ちヘラ磨き調整。内面はナデ。	
8	須恵器 羽蓋	+5cm 口縁部片	口(19.6) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、硬質 ③灰黄色	ロクロ成形。口縁部は内傾する。	

1 住居跡出土遺物観察表

B-127号住居出土遺物観察表(第183図 P L88)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土器 器 坏	+4cm 瓦	口(14.7) 底— 高—	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③黄褐色	口縁部外面へラ磨き。体部外面へラ磨り。内面は放射状へラ磨き。	
2	土器 器 坏	+4cm 瓦	口(14.2) 底— 高—	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③褐色	口縁部外面横ナデ。体部外面へラ磨り。内面は口縁部へ体部に横ナデ後放射状へラ磨き。	
3	土器 器 小 型 甕	床面着 口縁へ割 上位瓦	口(12.8) 底— 高—	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③におい赤褐色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ磨り、内面へラナデ後へラ磨き。	口縁部に炭化物付着。
4	土器 器 壺	+12cm 口縁瓦	口(21.4) 底— 高—	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③暗赤褐色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ磨り、内面へラナデ。	

B-128号住居出土遺物観察表(第185図 P L89)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土器 器 坏	覆土 瓦	口(12.9) 底(9.4) 高3.9	①細砂粒・2～3mmの小石を含む。②酸化焰、良好 ③黄褐色	口縁部外面横ナデ。体部外面へラ磨り。内面の口縁部へ体部横ナデ後へラ磨き。	
2	須恵 器 坏	覆土 瓦	口(11.0) 底4.9 高3.5	①粗砂粒・黒色鉱物を含む。②酸化焰、堅緻 ③におい褐色	ロクロ成形。底部は静止未切り。体部は内湾気味に立ち上がる。	
3	須恵 器 坏	覆土 瓦	口10.8 底5.5 高3.6	①粗砂粒・輝石を含む。②酸化焰、堅緻 ③浅黄褐色	ロクロ成形。	器面は荒れている。
4	須恵 器 高 台 付 埴 瓦	覆土 瓦	口(10.8) 底5.8 高4.2	①石英・黒色鉱物を含む。②酸化焰、良好 ③におい褐色	ロクロ成形。高台貼付。高台部横ナデ。口縁部へ体部内面へラ磨き。	内面黒色処理
5	灰輪陶 器 高 台 付 埴 瓦	覆土 底部	口— 底9.2 高—	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。高台貼付。高台部横ナデ。内面に重ね焼き痕。蓋軸は横け掛け。	虎渡山1号家式
6	土器 器 壺	覆土 口縁瓦	口(16.9) 底— 高—	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は「コ」の字状を呈する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ磨り、内面へラナデ。	
7	須恵 器 蓋 胴下位～ 底部瓦	覆土	口— 底— 高—	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③明赤褐色	外面へラ磨り、内面ナデ。底部付近の器内が厚い。	
8	須恵 器 蓋	覆土 口縁部片	口(21.8) 底— 高—	①中砂粒・白色細粒を含む。②酸化焰、堅緻 ③明赤褐色	口縁部は短く、僅かに内傾する。胴部外面へラ磨り。	底部は器面が荒れている。

B-129号住居出土遺物観察表(第187図 P L89)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵 器 小 型 坏	+11cm 完形	口9.0 底4.5 高3.0	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③赤褐色	ロクロ成形。底部右側転未切り。	
2	須恵 器 甕	貯蔵穴内 及び竈 口へ底部	口(19.9) 底13.4 高29.0	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③褐色	最大径は胴上位にある。口縁部内外面横ナデ。胴上位にロクロ成形痕。胴部及び胴中位～下位の外面はへラ磨り。胴部内面へラナデ。	底部は器面が荒れている。

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
3	須恵 瓶用品	胴土 一部欠損	縦 6.4 横 6.1	①微密 ②還元焰、堅緻 ③灰色	底部右回転糸切り。樽の底部を利用した転用品と思われる。周部を丁寧に打ち欠いている。	

B-130号住居出土遺物観察表(第189図 P L 89)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土器 罎	+2cm ほぼ完形	口 12.0 底 - 高 4.0	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	丸底を呈する。口縁部は内傾する。外縁は明瞭。口縁部は内外面横ナデ。体部外面横ナデ、内面放射状へう磨き。	
2	土器 罎	甕右脇 +5cm % % % % % %	口 12.4 底 - 高 4.2	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	丸底を呈する。口縁部は内傾する。外縁は明瞭。口縁部外面横ナデ。体部外面へう磨り。内面は口縁部へ体部横ナデ、指頭圧痕あり。	
3	土器 罎	甕右脇 +18cm % % % % % %	口 14.6 底 - 高 4.4	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	丸底を呈し、口縁部は内傾する。外縁は明瞭。口縁部外面横ナデ。体部外面へう磨り。口縁部へ体部横ナデ、指頭圧痕。	
4	土器 罎	甕右脇 +21cm % % % % % %	口 13.6 底 - 高 4.4	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	丸底を呈し、口縁部は外傾する。外縁は明瞭。口縁部は内外面横ナデ。体部外面へう磨り。内面横ナデ後へう磨き。	
5	土器 壺	甕右脇 床密着 % % % % % %	口 9.5 底 4.9 高 18.0	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は直立気味に立ち上がる。胴部は丸肩を呈し、底部はくぼみ底を呈する。口縁部は内外面横ナデ。肩部外面ナデ、針葉樹の葉の押圧痕。胴部へう磨り後へう磨き。内面胴部の接合部に指頭圧痕。胴上位へラナデ、下位ナデ。	

B-131号住居出土遺物観察表(第189図 P L 89)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土器 小型 壺	-6cm 口縁へ割 上半円	口 9.8 底 - 高 -	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は横やかに外反する。口縁部は内外面横ナデ。胴部外面へう磨り。内面ナデ調整。	2次に火を受けている。

B-133号住居出土遺物観察表(第192図 P L 89)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土器 罎	甕左脇 +18cm % % % % % %	口 12.7 底 - 高 -	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	丸底。口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。体部外面へう磨り。	
2	土器 罎	+17cm 口縁部 % % % % % %	口 18.3 底 - 高 -	①中砂粒・石英を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③褐色	口縁部は直立気味に立ち上がる。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へう磨り。内面へラナデ。	
3	土製 土	甕土 中央部一 部欠損	全長 4.9 幅 1.4 重量 9.9	①砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③淡黄褐色	円筒形を呈する。穿孔は中央から大きくずれている。孔径 0.4cm。	

1 住居跡出土遺物観察表

B-134号住居出土遺物観察表(第197図 P L 89・90)

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量(cm) (g)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土器 器 坏	+8cm %	口(13.0) 底(9.0) 高 4.5	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部外面横ナデ。体部との境に外縁あり。体部外面へう削り。内面は横ナデ。	
2	土器 器 坏	+41cm %	口(10.8) 底(7.2) 高 3.8	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	体部～底部の器肉が厚い。口縁部外面横ナデ。体部外面へう削り。内面は横ナデか。	
3	土器 器 坏	+13cm %	口(12.4) 底(8.6) 高 4.0	①細砂粒・赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は短い。口縁部外面横ナデ。体部外面へう削り。内面は横ナデ放射状へう磨き。	
4	土器 器 坏	-4cm %	口(13.6) 底— 高 4.2	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③褐色	口縁部外面横ナデ。体部外面へう削り。内面は横ナデ放射状へう磨き。	
5	須恵器 器 坏	+17cm %	口 11.4 底 6.9 高 3.4	①赤色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③褐色	ロクロ成形。右回転糸切り。	外面に自然釉。
6	土製品 土 鉢	+5cm %	全長(7.7) 幅 1.5 重量4.7	①砂粒・石英粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③浅黄褐色	中央部に窪みを持つ、円筒形の土器と思われる。孔径0.4cm。	

B-135号住居出土遺物観察表(第205図 P L 90)

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 器 坏	床密着 %	口(13.2) 底 6.3 高 3.7	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰色	体部は内湾する。ロクロ成形。底部右回転糸切り。	
2	須恵器 高台付 坏	床密着 %	口(15.0) 底 7.2 高 5.6	①白色細粒を含む。 ②還元焰、良好 ③褐色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。高台貼付。高台部横ナデ。	
3	土器 器 壺	-4cm 口縁～胴 上半身	口(18.5) 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	器肉の薄い「コ」の字状口縁の壺。口縁部横ナデ。輪横直・指環圧痕あり。胴部外面へう削り。内面へうナデ。	
4	土器 器 壺	+6cm 口縁～頸 部	口(19.7) 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	器肉の薄い「コ」の字状口縁の壺。口縁部横ナデ。輪横直・指環圧痕あり。胴部外面へう削り。内面へうナデ。	
5	須恵器 器 壺	+2cm 胴上半～ 底部	口— 底(9.2) 高—	①白色細粒を含む。 ②還元焰、硬質 ③外 黒褐色 内 褐色	ロクロ成形。外面の一部は器面の刺著しい。	

B-136号住居出土遺物観察表(第207図 P L 90)

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土器 器 坏	貯蔵穴 口縁～体 部	口(13.8) 底— 高(3.8)	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③によい褐色	口縁部と体部との境に明瞭な外縁が認められる。口縁部内外面横ナデ。体部外面へう削り。	
2	土器 器 瓶	床密着 体～底部	口— 底(10.8) 高(22.8)	①極粗砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③によい赤褐色	瓶の胴下半部。外面はへう削り。内面はへう磨き。	

B-137号住居出土遺物観察表(第209図 P L90)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 坏	覆土 片	口(9.6) 底 4.6 高 3.2	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、硬質 ③橙色	ロクロ成形。左回転糸切り。	
2	灰輪陶器 高台付埴	覆土 口縁～体 部	口(15.8) 底 — 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。体部下下部回転ヘラ削り調整。体部は内湾する。施物は漬け掛け。	
3	灰輪陶器 高台付埴	覆土 片	口(17.6) 底 — 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	口縁部小破片。ロクロ成形。	
4	須恵器 羽蓋	+3cm 口縁～胴 上半	口(21.4) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。口縁部は僅かに内傾する。胴は断面三角形を呈する。	

B-138号住居出土遺物観察表(第213・214図 P L90・91)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 坏	-2cm 片	口(14.5) 底(6.2) 高 4.2	①白色細粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成形。口縁部は外反する。底部右回転糸切り。	
2	須恵器 高台付埴	床密着 口縁～底 部	口(16.2) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成形。体部は内湾する。高台貼付。底部右回転糸切り。	高台剝離
3	須恵器 高台付埴	+3cm 片	口(14.3) 底 — 高 —	①白色細粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰色	ロクロ成形。口縁部は外反する。高台貼付。底部右回転糸切り。	
4	須恵器 高台付埴	床密着 片	口 15.6 底 7.5 高 5.3	①白色細粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰色	ロクロ成形。体部は内湾する。高台貼付。高台部内外面横ナデ。底部右回転糸切り。	
5	須恵器 高台付皿	+14cm 片	口(13.3) 底 7.0 高 2.9	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。底部回転糸切り後ヘラ削りの文様あり。高台貼付。転用器に使用された可能性があり、内面に磨耗している。	
6	灰輪陶器 高台付埴	+1cm 片	口 14.5 底 6.3 高 4.7	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。体部は内湾する。体部及び底部回転ヘラ削り調整。高台貼付。施物は刷毛掛け。	光ヶ丘1号窯式
7	灰輪陶器 高台付埴	+7cm 体部～底 部	口 — 底(7.4) 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。体部及び底部回転ヘラ削り調整。内面に灰輪。施物は刷毛掛け。	黒登14号窯式
8	灰輪陶器 高台付埴	覆土 口縁部片	口 — 底 — 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。内面及び口唇部施釉。	黒登か。
9	須恵器 鉢	床密着 片	口 23.8 底 10.1 高 11.7	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成形。体部は内湾する。底部右回転糸切り。	内面はイブシ。
10	土師器 小型壺	+8cm 口縁～胴 上半	口(12.3) 底 5.4 高 14.5	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	「コ」の字状口縁。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り。内面はハケメ状工具によるヘラナデ。	内面に腐付着。
11	土師器 小型壺	+1cm 口縁～胴 上半	口 12.2 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	「コ」の字状口縁。口縁部内外面横ナデ。外面に指痕圧痕。胴部外面ヘラ削り。内面ヘラナデ。	
12	土師器 壺	床密着 片	口 19.5 底(5.0) 高 26.5	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	「コ」の字状口縁。口縁部内外面横ナデ。胴部外面に指痕圧痕。胴部外面ヘラ削り。内面ヘラナデ。	
13	土師器 壺	床密着 口縁～胴 上半	口(20.9) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	「コ」の字状口縁。口縁部内外面横ナデ。胴部外面に指痕圧痕。胴部外面ヘラ削り。内面ヘラナデ。	

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量 (cm) (g)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
14	土製品 土 甕	覆土 ほぼ完形	全長4.4 幅 1.8 重量10.5	①細砂粒・石英粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③におい黄褐色	中央部に膨らみを持つ。形状は円筒形を呈する。 孔径0.4cm。			
番号	器 種	出土状況 残存状況	計 測 値 (cm・g)				石 材	特 徴
15	磨石 磨石	-12cm 完形	全長	幅	厚さ	重量	石英岩	表面の2面を磨面として使用、側面に敲打痕。

B-139号住居跡出土遺物観察表(第218・219図 P L 91)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量 (cm) (g)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土 器 土 甕	+15cm 瓦	口(12.0) 底 (8.0) 高 4.6	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③褐色	口縁部外面横ナデ。体部外面へう削り。内面の口縁部へ体部横ナデ後へう磨き。	
2	須 恵 器 土 甕	南壁 +10cm 瓦	口 12.9 底 7.8 高 3.1	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③黄灰色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	外面と内面の口縁端部にイブシ。
3	須 恵 器 土 甕	南壁 +9cm 瓦	口(12.6) 底 5.6 高 3.5	①微細砂粒・石英粒を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③黄褐色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	内外面にイブシ。口縁部に歪み。内面に付着物。
4	須 恵 器 土 甕	+21cm 瓦	口(14.6) 底 (8.9) 高 3.0	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。底部内面ロクロ成形後へう磨き。	
5	須 恵 器 土 甕	覆土 瓦	口 9.8 底 3.6 高 3.2	①赤色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③褐色	ロクロ成形。体部外面に棒状工具痕。底部右回転糸切り。	内面に褐色の付着物。
6	須 恵 器 土 甕	覆土 底部	口 — 底 7.4 高 —	①緻密 ②還元焰、やや軟質 ③内 灰白色 外 灰色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	底部に黒書。外面イブシ。
7	須 恵 器 高台付皿	床番着 瓦	口(12.4) 底 7.0 高 4.6	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。高台貼付。高台部横ナデ。	
8	灰 輪 陶 器 高台付皿	+12cm 底部へ高 台部	口 — 底 7.0 高 —	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③明褐色	ロクロ成形。底部回転へう削り。高台(三ヶ月)貼付。無軸は明毛掛け。	光ヶ丘1号窯式
9	土 器 小 壺 台付葉か	+13cm 口縁へ割 上台瓦	口(11.8) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③赤褐色	口縁部は「コ」の字状を呈する。口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。体部外面へう削り、内面へうナデ。	
10	土 器 土 甕	+10cm 口縁部片	口(20.3) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③褐色	口縁部は「コ」の字状を呈する。口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。胴部外面へう削り、内面へうナデ。	
11	須 恵 器 土 甕	+23cm 口縁部	口 10.5 底 — 高 —	①白色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③暗赤褐色	ロクロ成形。口縁端部に外縁帯を持つ長頸壺と思われる。	
12	須 恵 器 羽 釜	-8cm 口縁へ割 上半瓦	口(18.8) 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③におい褐色	ロクロ成形。胴下位はへう削り。	
13	須 恵 器 土 甕	覆土 把手	口 — 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	壺の把手部と思われる。一部に自然蝕。	
14	土 製 品 土 甕	床番着 上部欠損	全長(3.0) 幅 1.7 重量7.7	①細砂粒・石英粒を含む。 ②還元焰、良好 ③浅黄褐色	中央部に膨らみを持つ。上部を欠くが円筒形を呈するものと思われる。	
15	土 製 品 土 甕	床番着 一部欠損	全長3.9 幅 1.8 重量8.6	①細砂粒・石英粒を含む。 ②還元焰、良好 ③浅黄褐色	中央部が大きく膨らむ。上部部を僅かに欠くが円筒形を呈する。孔径0.6cm。	

B-140号住居出土遺物観察表(第221図 P L91)

番号	土器種別 器	出土状況 残存状況	法量(cm) (g)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土 師 器 環	+27cm %	口(12.0) 底 — 高 4.5	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	底部は丸底を呈し、底部の器内がきわめて厚い。口縁部内外面横ナデ。体部外面へう削り、内面ナデ。	
2	土 師 器 環	覆土 %	口(12.7) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	底部は丸底を呈する。口縁部の幅は狭く、内傾する。口縁部内外面横ナデ。体部外面はへう削り。	
3	土 師 器 環	+22cm %	口(13.4) 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	底部は丸底を呈し、口縁部と体部の境に明瞭な線を有す。口縁部横ナデ。底部外面へう削り。	
4	土 師 器 高 環	覆土 環部%	口(17.6) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	高環の環部、底部が狭く、口縁部が大きく開く。口縁部外面横ナデ、内面横ナデ後へう削り。体部外面へう削り。	
5	土 師 器 甕	+2cm 口縁~胴 上位%	口(20.7) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③浅黄褐色	大きな丸胴の甕。口縁部は僅やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へう削り、内面へうナデ。	
6	土 師 器 瓶	+33cm 底部%	口 — 底(10.9) 高 —	①中砂粒・石英を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③にぶい黄褐色	瓶の胴下半部と思われる。底部に円形状の穴が穿たれている。外面へう削り、内面へうナデ。	
7	土 師 器 瓶	+27cm 口縁~胴 上位%	口(17.8) 底 — 高 —	①中砂粒・石英を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③浅黄褐色	小型の瓶の胴上半部と思われる。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へう削り、内面へうナデ。	
8	土 製 品 丸 玉	床着着 完形	径 1.05 厚き0.9 重量0.9	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③黒褐色	円形を呈し、中央部が細く穿孔されている。孔径0.1cm。	
9	炭化物 木の実種子	覆土 残存状況	全長2.0 厚き0.9 重量1.08		木の实種子の炭化した物。一部を欠損。	

B-141号住居出土遺物観察表(第200・201図 P L92)

番号	土器種別 器	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土 師 器 環	+17cm %	口 12.6 底 9.4 高 4.0	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③にぶい橙色	口縁部は内外面丁寧な横ナデ。体部~底部外面へう削り。	
2	土 師 器 環	+21cm %	口(15.0) 底(10.2) 高 5.3	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい橙色	口縁部外面横ナデ。体部外面へう削り。内面は器面が寛れている。	
3	須 恵 器 環	+19cm %	口 13.4 底 7.7 高 3.6	①緻密 ②還元焰、良好 ③灰黄褐色	ロクロ成形。右回転糸切り。体部に条痕。	
4	須 恵 器 環	+17cm %	口 13.0 底 7.4 高 3.6	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③灰黄色	ロクロ成形。右回転糸切り。	
5	須 恵 器 環	+17cm %	口(11.0) 底 (6.1) 高 3.4	①黒色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。右回転糸切り。体部外面に自然釉。	
6	須 恵 器 埴 壇	覆土 底部~高 台部	口 — 底(11.1) 高 —	①白色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。体部下半部及び底部回転へう削り調整。高台貼付。高台部横ナデ。	
7	須 恵 器 埴 壇	+14cm 体部下 半~底部	口 — 底 (8.0) 高 —	①白色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。右回転糸切り。高台貼付。高台部横ナデ。	
8	須 恵 器 蓋	+23cm ほぼ完形	口(17.0) 径 3.3 高 3.9	①白・黒色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	宝珠形つまみを持つ蓋。ロクロ成形。天井部は回転へう削り調整。	

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種類	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考	
							計
			全長	幅	厚さ	重量	
9	須恵器 長頸壺	+21cm 口縁片~ 胴部上半	口(11.0) 底 — 高 —	①白色細粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成形。内面に接合痕。		
10	須恵器 壺	+10cm 肩部片	口 — 底 — 高 4.0	①白色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。肩部に沈線4条。		
11	土師器 台付壺	+10cm 片	口(12.4) 底 10.3 高 19.0	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③にぶい褐色	口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。胴部外面へラ削り、内面へラナデ、頸部との境に棒状工具による押さえ。台部は「ハ」の字状に外開する。		
12	土師器 台付壺	+18cm 台部欠損	口 10.5 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③にぶい褐色	口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。胴部外面へラ削り、内面の上部は横方向のナデ、以下は縦方向のナデ。台部外面横ナデ、内面ナデ。		
13	土師器 壺	甕岡辺床 密着口縁 ~胴上半	口 21.0 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③明赤褐色	口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。		
14	土師器 壺	+33cm 口縁~胴 上位片	口(20.3) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③暗赤褐色	口縁部内外面横ナデ、指頭圧痕。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。		
15	土師器 壺	甕内+5 cm 口縁 ~頸部片	口(21.4) 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②還元焰、やや堅緻 ③明赤褐色	口縁部内外面横ナデ、胴部外面へラ削り、内面へラナデ。		
16	土師器 壺	床密着 口縁部	口 19.4 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③明赤褐色	口縁部内外面横ナデ、胴部外面へラ削り、内面へラナデ。		
17	土師器 壺	+10cm 胴部~底 部	口 — 底 12.6 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③褐色	胴部~底部の外面へラ削り、内面はナデ。		
18	土師器 壺	+10cm 口縁~胴 部片	口(30.5) 底 — 高 —	①赤色細粒を含む。 ②還元焰、やや堅緻 ③明赤褐色	器内が厚く、口縁部は外反する。口唇部に沈線1条。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面ナデ。		
19	土師器 壺	+25cm 口縁~胴 部片	口(21.8) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③褐色	口縁部の器内が厚い。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り後へラ磨き、内面はハケメ状工具によるナデ。		
番号	器 種	出土状況 残存状況	計	測 量 (cm・g)			特 徴
20	鉄製品 鏝	+8cm	(9.9)	3.7	0.5	26.7	先端部、基部ともに欠損。全体に錆化が進行している。

B-142号住居出土遺物観察表(第224図 P.L.93)

番号	土器種類	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考	
							計
			全長	幅	厚さ	重量	
1	土師器 坏	+4cm 片割	口(13.4) 底 (8.7) 高 —	①赤色細粒を含む。 ②還元焰、良好 ③褐色	口縁部外面横ナデ。体部外面へラ削り。内面は横ナデ後へラ磨き。		
2	須恵器 坏	+13cm 片	口(12.0) 底 (8.7) 高 4.1	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	口縁部~体部ロクロ成形後丁寧な横ナデ。底部は回転へラ切り後回転へラ削り。		
3	須恵器 坏	覆土 体部~底 部片	口 — 底 (8.4) 高 —	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③灰白色	ロクロ成形。底部回転へラ削り。		
4	須恵器 蓋	覆土 片	口(13.8) 横 — 高 —	①黒色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。つまみ欠損。		
5	須恵器 高台付坏	+3cm 底部	口 — 底 10.5 高 —	①白色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。底部回転へラ削り。高台貼付。高台部内外面横ナデ。		

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
6	土 師 器 小 型 壺	+24cm 口縁~頸部 底 一 高 一	口(14.3)	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色色	「コ」の字状口縁を持つ小型の壺。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へう削り、内面はへらナデ。	
7	土 師 器 壺	+13cm 口縁~頸部 底 一 高 一	口(24.8)	①粗砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へう削り、内面へらナデ。	
8	土 師 器 壺	+13cm 胴部 底 一 高 一	口 一 底 一 高 一	①粗砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③にぶい褐色	丸胴を呈する大型の壺と思われる。胴部外面へう削り、内面ナデ。	

B-143号住居出土遺物観察表(第225・227図 P L93)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土 師 器 坏	+2cm 底 一 高 5.1	口(14.0)	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色色	底部は深く丸底を呈する。口縁部は短く内傾し、底部との境に明瞭な線を持つ。口縁部横ナデ。底部外面へう削り、内面丁寧なナデ調整。	
2	土 師 器 坏	+30cm 底 一 高 4.7	口(13.4)	①白・赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	底部は丸底を呈する。口縁部内外面横ナデ。底部へう削り。	底部に黒斑あり。
3	土 師 器 坏	覆厚土 底 一 高 一	口(13.8)	①粗砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	底部は丸底を呈し、口縁部との境に弱い線を持つ。口縁部横ナデ。底部へう削り。	
4	土 師 器 高 坏	+10cm 坏部 底 一 高 一	口(20.0)	①白色細粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③褐色	底部は浅く、口縁部は大きく開く。口縁部内外面横ナデ後へう磨き。底部外面へう削り。	
5	土 師 器 壺	甕右脇 床密着 口~胴部 底 一 高 一	口 20.4	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③黄褐色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面へう削り、内面は器面の荒れが著しい。	2次的に火を受けている。褐色の付着物。
6	土 師 器 壺	甕内 床密着 口~胴部 底 一 高 一	口(19.2)	①粗砂粒・石英を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい黄褐色	口縁部横ナデ。胴部は外面へう削り、内面へらナデ。	
7	土 師 器 壺	床密着 胴下位~ 底部 底 (7.0) 高 一	口 一 底 一 高 一	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	底部の器内が厚い。胴部外面へう削り、内面へらナデ。	

番号	器 種	出土状況 残存状況	計 測 値 (cm・g)				石 材	特 徴
			全 長	編 幅	厚 さ	重 量		
8	紡 織 車	-6cm 上下欠損	径 4.0	孔径 0.7	1.1	25.6	滑石	偏平な紡織車であり、上下面ともに一部欠損。
9	砥 石	床密着 完形	19.2	10.2	5.1	1,388.5	砥石	4側面をすべて砥石に使用している。特に一面を多く使用し、中央が凹状を呈する。
10	砥 石	+5cm 完形	14.1	8.8	3.6	681.2	粗粒安山岩	2側面を磨り面として使用している。先端部に敲打痕。
11	磨 石	床密着 完形	14.5	8.0	4.6	702.2	実質安山岩	2側面を磨り面として使用している。
12	砥 石	床密着 完形	13.0	9.0	3.1	500.9	緑色片岩	1面に研磨痕が見られる。先端部に敲打痕あり。

B-144住居出土遺物観察表(第230・231図 P L93・94)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土 師 器 坏	甕右脇 床密着 ほぼ完形	口 11.7 底 一 高 4.0	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	底部は丸底を呈する。口縁部内外面横ナデ。底部外面へう削り。	

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
							計	測 値(cm・g)
番号	器 種	出土状況 残存状況	全 長	幅	厚 さ	重 量	砥沢石	
2	土 師 器 小 型 壺	住居外南 壁付近	口 11.9 底 — 高 12.4	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③褐色	底部は丸底を呈する。口縁部内外面横ナデ。外面は横方向へのへり削り。内部へつ削後丁寧なへり磨き。	底部及び口縁外面に黒斑。内面黒色処理		
3	土 師 器 小 型 壺	竈右袖内 床密着	口 15.2 底 — 高 15.8	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③赤褐色	底部は丸底を呈する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へのへり削り。内面へつナデ。	胴部残存着。		
4	土 師 器 小 型 壺	床密着 胴へ底部	口 — 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③におい褐色	丸底を呈する小型壺と思われる。外面へのへり削り。内面へのへり削り。			
5	土 師 器 壺	竈内 +6cm	口 23.0 底 4.6 高 33.5	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部に最大径を持つ長胴壺。口縁部内外面横ナデ。外面に指頭圧痕。胴部外面は中位へつ口縁部に向かって斜め方向へのへり削り。中位へつ底部に向かって縦方向へのへり削り。内面はへつナデ。			
6	土 師 器 壺	床密着 ほぼ完形	口 24.4 底 12.6 高 28.9	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰 ③褐色	口縁部は短く、「く」の字状に外反。口縁部内外面横ナデ。胴部外側縦方向へのへり削り。内面へつナデ。			
7	須 恵 器 壺	+9cm 胴部小片	口 — 底 — 高 —	①白色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰黄色	外面平行印目文。内面同心円文。			
番号	器 種	出土状況 残存状況	計	測 値(cm・g)			石 材	特 徴
8	砥 石	+7cm ほぼ完形	全 長 10.0	幅 4.0	厚 さ 2.0	重 量 153.1		

B-145号住居出土遺物観察表(第235・236図 P L94)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
							計	測 値(cm・g)
番号	器 種	出土状況 残存状況	全 長	幅	厚 さ	重 量	砥沢石	
1	土 師 器 环	+17cm	口 12.0 底 — 高 3.4	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部外面横ナデ。体部へつ削り。内面は横ナデ後へのへり磨き。			
2	土 師 器 环	+16cm	口(12.6) 底 — 高 2.8	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は内外面横ナデ。底部へのへり削り。			
3	土 師 器 环	+34cm	口(16.2) 底(12.0) 高 3.6	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部外面横ナデ。体部外面無調整。底部外面へのへり削り。内面は横ナデ。			
4	土 師 器 环	+1cm	口(17.0) 底 11.4 高 5.2	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部外面横ナデ。体部外面へのへり削り。内面は横ナデ後へのへり磨き。			
5	土 師 器 环	竈内	口(17.4) 底 — 高 5.8	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③褐色	口縁部外面横ナデ。体部外面へのへり削り。内面は横ナデ。			
6	土 師 器 环	+16cm	口(13.7) 底 — 高 3.8	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③褐色	口縁部外面横ナデ。体部へつ削り。内面は横ナデ後放射状へのへり磨き。内面にへのへり削り。			
7	土 師 器 皿	竈内 床密着	口 15.5 底 — 高 2.1	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部外面横ナデ。体部へつ削り。内面は横ナデ後へのへり磨き。			
8	須 恵 器 环	+20cm	口(16.0) 底(10.5) 高 3.5	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。体部下半へつ削り調整。			
9	須 恵 器 环	+34cm	口(13.6) 底(9.6) 高 3.6	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰黄褐色	ロクロ成形。体部下半へつ削り調整。			

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
							全長	幅
10	須恵器 坏	+27cm %	口(13.8) 底(9.8) 高 3.5	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③黄灰色	ロクロ成形。体部下半回転ヘラ削り。底部は回転ヘラ削り後回転ヘラ削り。			
11	須恵器 坏	覆土 %	口(15.5) 底(11.8) 高 3.7	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。体部下半へ底部回転ヘラ削り調整。ケズリ出し高台。			
12	須恵器 坏	+23cm %	口(15.7) 底(11.3) 高 3.7	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。体部下半へ底部回転ヘラ削り調整。			
13	須恵器 坏	+26cm %	口(8.4) 底 6.2 高 3.8	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③白色	ロクロ成形。口縁部に沈線2条。底部回転ヘラ削り調整。ケズリ出し高台。			
14	須恵器 蓋	覆土 %	口(13.6) 横 4.2 高 2.8	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰色	つまみは環状を呈する。天井部は回転ヘラ削り。天井部の器内が厚い。口縁端部は折り。			
15	須恵器 小型 割部写	覆土 割部写	口— 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成形。胴部に沈線1条。割部の器内が厚い。			
16	須恵器 蓋	-14cm 胴下位へ 底部%	口— 底(6.5) 高—	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③にぶい赤褐色	ロクロ成形。底部付近回転ヘラ削り調整。			
17	土師器 小型 壺	+9cm %	口(12.2) 底— 高—	①細砂粒・器母を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい赤褐色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。			
18	土師器 小型 壺	ビット内 -8cm 口へ割部	口 13.3 底— 高—	①中砂粒・器母を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。			
19	土師器 小型 壺	床番書 口縁へ割 上位	口(15.2) 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ナデ。			
20	土師器 壺	+14cm 口縁へ割 上半%	口(22.0) 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。			
21	土師器 壺	+33cm 口縁へ割 上位%	口(30.7) 底— 高—	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③褐色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。			
22	土師器 鉢	+33cm 口縁へ割 上位%	口(27.3) 底— 高—	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③褐色	口縁部横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。			
23	土師器 壺	電覆土 口縁へ割 上半	口 26.6 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。			
番号	器種	出土状況 残存状況	計 画 値 (cm・g)			石材	特徴	
			全長	幅	厚さ			重量
24	砥石	+5cm 一部欠	14.8	9.6	5.0	832.1	砥石	3側面を砥石として多く使用しており、3面とも中央部が凹状にくぼんでいる。

B-146号住居出土遺物観察表(第239図 P L94・95)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+2cm %	口(13.8) 底— 高 6.1	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③浅黄色	体部は内削し、口縁部は厚く外反する。口縁部外面横ナデ後ヘラ磨き、内面横ナデ。体部外面ヘラ削り後ヘラ磨き、内面ヘラナデ。	
2	土師器 坏	+5cm %	口(14.6) 底— 高 5.1	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③浅黄褐色	口縁部は厚やかに外傾する。口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。内面の口縁部へ体部横ナデ後ヘラ磨き。	

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
3	土師器 坏	+2cm %	口(11.5) 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③淡黄褐色	体部は内湾し、口縁部は短く外反する。口縁部内外面横ナデ。体部外面へラ削り、内面ヘラナデ。	
4	土師器 坏	+2cm %	口12.6 底— 高4.0	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、軟質 ③赤褐色	器内が厚い。口縁部は内外面横ナデ。体部外面へラ削り。	
5	土師器 壺	+3cm 口縁→胴 上位%	口(20.0) 底— 高—	①白色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③淡黄褐色	口縁部は外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面ヘラナデ。	
6	土師器 壺	+5cm 口縁部%	口(21.0) 底— 高—	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面ヘラナデ。	
7	土製品 支脚	覆土 %	口(6.0) 底(6.2) 高5.2	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	外面はへラ削り。内面はナデ、指頭圧痕あり。	

B-147号住居出土遺物観察表(第241図 P L95)

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+7cm %	口(14.0) 底— 高5.3	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	口縁部は僅かに外傾する。外壁は明瞭。口縁部外面横ナデ。体部外面へラ削り。口縁部→体部内面横ナデ後へラ磨き。底部内面ヘラナデ。	

B-148号住居出土遺物観察表(第244図 P L95)

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+2cm %	口(12.8) 底— 高4.0	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	底部は丸底を呈し、口縁部との境に深い稜を持つ。口縁部内外面横ナデ。体部外面へラ削り後へラ磨き。内面に指頭圧痕。	
2	土師器 坏	+5cm %	口(13.5) 底— 高—	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③褐色	底部は丸底を呈し、浅く器内が厚い。口縁部横ナデ。体部の外面へラ削り。	
3	土師器 坏	覆土 %	口(15.0) 底— 高5.0	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい黄褐色	底部は丸底を呈し、浅く器内が厚い。口縁部外面横ナデ後へラ磨き。体部外面へラ削り。	
4	土師器 埴	+18cm %	口14.9 底— 高7.6	①粗粒砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	体部と口縁部の境に明瞭な稜を持ち、丸底を呈する。口縁は短く、内傾する。口縁部横ナデ。体部外面へラ削り、内面ヘラナデ。	底部に黒斑がある。
5	土師器 小型壺	ピット内 -17cm %	口(14.8) 底6.7 高14.5	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③にぶい褐色	胴部中央に最大径を持つ小形壺。口縁部内外面横ナデ。胴部外面は胴部→口縁部に向かって緩方向へのラ削り。内面ヘラナデ。	底部に黒斑あり。胴部内面黒付着。
6	土師器 壺	床密着 底部	口— 底7.5 高—	①粗粒砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③赤褐色	外面へラ削り。胴部に指頭圧痕。内面ヘラナデ。	

B-149号住居出土遺物観察表(第248・249図 P L95)

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 埴	覆土 口縁→体 部%	口(9.9) 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部と体部との境に明瞭な稜を持つ。口縁部横ナデ。	

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考	
							全長
2	土師器 ミニチュア	覆土 瓦	口(5.7) 底(4.5) 高 5.5	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、硬質 ③褐色	体部外面無調整、指頭正張りあり。内面指ナデ。		
3	土師器 壺	甕上部 +2cm 瓦	口(22.6) 底 5.0 高 34.5	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい赤褐色	口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面は底部→口縁部 に向かって縦方向のヘラ削り。胴部内面ヘラナデ。	胴部下下半付着。	
4	土師器 壺	甕上部 +2cm ほぼ完形	口 22.0 底 3.7 高 34.7	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面は胴部下→口 縁部に向かって縦方向のヘラ削り。胴部下→底 部に向かってヘラ削り。内面はナデ。	胴部下下半付着。	
5	土師器 壺	+32cm 口縁部	口 22.0 底 — 高 —	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部内外面ヨコナデ。胴部外面はヘラ削り、内 面ヘラナデ。		
6	須恵器 壺	+31cm 口縁部瓦	口 14.5 底 — 高 —	①白色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。		
番号	器種	出土状況 残存状況	測 量 (cm・g)			石 材	特 徴
			全長	幅	高さ		
7	磁石	+19cm 完形	8.5	7.0	4.7	375.5	砂岩 側面のほぼ全周に敲打痕が見られる。

B-150号住居出土遺物観察表(第252図 P L95・96)

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+23cm 完形	口 13.0 底 — 高 4.4	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	底部は丸底を呈する。口縁部との境には明瞭な線を 持つ。口縁部横ナデ。体部ヘラ削り、体部内面 に指頭正張り。	
2	土師器 坏	+10cm 瓦	口(12.6) 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③黄褐色	底部は丸底を呈する。口縁部との境には明瞭な線を 持つ。口縁部横ナデ。体部ヘラ削り、内面はヘ ラ磨き。	
3	土師器 高坏	+6cm 胴部瓦	口 — 底 — 高 —	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	外面ヘラ磨き。内面ヘラ削り後ナデ。	
4	土師器 甕	+24cm 口縁→胴 上位瓦欠	口(22.3) 底 10.5 高 3.2	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	大型の甕。口縁部内外面横ナデ、外面に沈線2条。 胴部外面下位→口縁部に向かってヘラ削り。底部 付近は横方向のヘラ削り。胴部内面ナデ、底部付 近ヘラ削り。	
5	土師器 甕	+24cm 底部欠損	口(22.6) 底 — 高 —	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	口縁部に最大径を持つ長胴甕。口縁部内外面横ナ デ。胴部外部ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
6	土師器 甕	+24cm 胴部瓦 欠損	口(21.6) 底 5.0 高 35.5	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい赤褐色	口縁部に最大径を持つ長胴甕。口縁部内外面横ナ デ。胴部外面は下位→口縁部に向かって縦方向の ヘラ削り、底部付近は横方向のヘラ削り。胴部内 面ナデ。	

B-151号住居出土遺物観察表(第185図 P L96)

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	覆土 口縁→体 部瓦	口(14.2) 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は外傾する。口縁部外面横ナデ。体部外面 ヘラ削り。内面は口縁部→体部横ナデ後ヘラ磨き。	
2	須恵器 坏	覆土 瓦	口(8.2) 底 — 高 —	①極粗砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	口縁部は内傾する。外壁は明瞭。ロクロ成形。口 縁部横ナデ。体部上半ナデ。以下ヘラ削り後ヘラ 磨き。口縁部の一部に自然軸。	

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
3	土師器 高台付 環	覆土 環部片	口(14.4) 底— 高—	①中～粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は外傾する。口縁部外面横ナデ後へう磨き、内面は横ナデか。	
4	土師器 壺	覆土 口縁部片	口— 底— 高—	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は外反する。外面はへう削り。	

B—152号住居出土遺物観察表(第255図 P L96)

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 高台付 環	—10cm 完形	口 11.4 底 5.8 高 3.7	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや緊緻 ③褐色	ロクロ成形。体部へ口縁は内湾気味に立ち上がる。底部右回転未切り。	器底あり。
2	灰輪陶器 高台付 皿	+2cm 片	口(12.2) 底 7.3 高 2.7	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。底部回転へう削り調整。高台貼付。施釉は掛け掛け。	丸石2号窯式
3	須恵器 羽 蓋	+3cm 口縁片	口(20.8) 底— 高—	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③褐色	ロクロ成形。口縁部は短く内傾する。罫は断面三角形で丁寧に貼付。	
4	須恵器 羽 蓋	床着密 口縁片	口(20.2) 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③によい褐色	ロクロ成形。口縁部は内傾する。罫は断面三角形で丁寧に貼付。	
5	土製品 丸 玉	+2cm 完形	径 1.1 厚さ0.9 重量0.7	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	ほぼ球形を呈する土製の丸玉。中央部に孔径0.1cm程の小円孔あり。	

B—153号住居出土遺物観察表(第258図 P L96)

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
1	土師器 高台付 環	—7cm 写調	口(11.7) 底(8.3) 高 4.8	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部内外面横ナデ。体部外面へう削り。	内面は罫面が荒れている。		
2	須恵器 高台付 環	—4cm 片	口 13.0 底 7.0 高 3.0	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成形。底部右回転未切り。	罫面に歪みがある。		
3	須恵器 高台付 皿	北壁下 +8cm 片	口(14.9) 底 7.7 高 5.6	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。体部は内湾気味に立ち上がる。底部右回転未切り。高台貼付。高台部内外面横ナデ。			
4	須恵器 高台付 皿	+13cm 片	口(15.5) 底 7.4 高 6.2	①緻密 ②還元焰、良好 ③灰色	ロクロ成形。体部は内湾気味に立ち上がる。底部右回転未切り。高台貼付。高台部内外面横ナデ。			
5	須恵器 高台付 皿	竈内 床着密 片	口(14.2) 底(6.4) 高 2.7	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。高台貼付。高台部内外面横ナデ。内面の中央は転用器に使用されたものと思われる摩耗している。			
6	土師器 高台付 壺	竈内 床着密 口～胴部	口(18.7) 底— 高—	①微細砂粒・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、良好 ③によい褐色	器内の薄い「コ」の字状口縁の壁。口縁部内外面横ナデ。外面の上部に滑面圧痕。外面へう削り、内面ヘラナデ。中に指環圧痕。			
番号	器 種	出土状況 残存状況	計 量 (cm・g)				石 材	特 徴
			全長	幅	厚さ	重量		
7	瓶 石	+14cm 完形	15.5	5.3	4.7	619.0	ゲイサイト	表面の全面を磨面として使用している。側面の上下に縦行痕。

B-154号住居出土遺物観察表(第261図 P L96)

番号	土器種別 器	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	甕石窯 +5cm 片	口13.5 底— 高4.3	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい黄褐色	丸底を呈する。外縁は明瞭。口縁部内外面横ナデ。体部外面へう割り後へう磨き、内面ナデ後へう磨き。	
2	土師器 坏	甕内 +11cm 片	口(12.6) 底— 高4.1	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	丸底を呈する。口縁部は内傾し、外縁は明瞭。口縁部内外面横ナデ。体部外面へう割り後へう磨き、内面横ナデ後へう磨き。	
3	土師器 甕	+8cm 口縁→胴 部片	口(15.0) 底— 高—	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へう割り、内面へうナデ。	
4	土師器 甕	床密着 +21cm 口縁部片	口(19.0) 底— 高—	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へう割り、内面へうナデ。	
5	土師器 甕	床密着 +6cm 口→胴上	口(18.6) 底— 高—	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。外面に指頭圧痕。胴部外面へう割り、内面へうナデ。	

B-155号住居出土遺物観察表(第265図 P L97)

番号	土器種別 器	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 坏	覆土 片	口13.7 底6.7 高3.1	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰黄褐色	クロロ成形。底部右回転余切り。	
2	須恵器 坏	+2cm 片	口(13.2) 底(5.7) 高3.2	①粗細砂粒を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③灰黄色	クロロ成形。底部右回転余切り。	
3	須恵器 高台付埴 土	-2cm 口縁部欠 片	口— 底(7.0) 高—	①粗細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	クロロ成形。底部右回転余切り。高台貼付。高台部内外面横ナデ。	
4	灰輪陶器 高台付埴 土	覆土 体→台部 片	口— 底(7.6) 高—	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	クロロ成形。体部外面回転へう割り調整。高台貼付。高台部内外面横ナデ。内面に灰輪、施輪は漬け掛け。	成塚山1号窯式
5	土師器 甕	+8cm 口縁片	口(17.7) 底— 高—	①粗細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	器内の薄い「コ」の字状口縁の壁。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へう割り、内面へうナデ。	

B-156号住居出土遺物観察表(第265図 P L97)

番号	土器種別 器	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 坏	貯蔵穴内 -10cm 片	口(12.8) 底5.4 高4.7	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	クロロ成形。体部内面へう磨き。	内面黒色処理
2	須恵器 坏	甕内 +13cm 体→底部	口— 底(5.5) 高—	①粗細砂粒を含む。 ②酸化焰、硬質 ③にぶい褐色	クロロ成形。底部右回転余切り。体部内面へう磨き。	内面黒色処理
3	須恵器 坏	甕胴部 +1cm 片	口(12.4) 底(8.4) 高3.8	①緻密 ②還元焰、良好 ③灰白色	クロロ成形。底部及び底部周辺回転へう割り調整。	
4	須恵器 高台付埴 土	+9cm 底部片	口— 底(7.4) 高—	①粗細砂粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰白色	クロロ成形。高台貼付。高台部内外面横ナデ。	底部準減

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
5	土器 壺	壺内 +1cm	口(20.3) 底 4.6 高 25.7	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③橙色	器内の薄い「コ」の字状口縁の縁。口縁部内外面横ナデ、外面に指頭圧痕。胴部外面へラ削り、内面ナデ。内面底部周辺はハケメ状工具によるナデ。	
6	土器 壺	貯蔵穴内 -4cm 口-胴部	口(20.2) 底 - 高 -	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③洗黄褐色	口縁部は僅かに外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	胴部内面に煤付着。
7	土器 壺	貯蔵穴上 部+11cm 口-胴部	口(19.6) 底 - 高 -	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③によい橙色	口縁部は短く外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面に指頭圧痕。胴部外面へラ削り、内面へラナデ。	

B-157号住居跡出土遺物観察表(第269図 P L97)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 坏	貯蔵穴内 -37cm ほぼ完形	口 10.6 底 4.5 高 3.2	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③洗黄褐色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。底部にへラ状の工具痕。	口縁部に歪みあり。
2	須恵器 坏	貯蔵穴内 -35cm 完形	口 10.7 底 5.2 高 3.1	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	
3	須恵器 坏	貯蔵穴内 -36cm ㄥ	口(11.0) 底 4.9 高 3.3	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③によい黄褐色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。	
4	須恵器 坏	貯蔵穴内 -27cm ㄥ	口(11.1) 底 4.2 高 3.3	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③によい黄褐色	ロクロ成形。底部右回転糸切り。底部の器内は厚い。	
5	須恵器 高台付境	貯蔵穴上 部-2cm ㄥ	口(13.8) 底 6.4 高 6.0	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③洗黄褐色	ロクロ成形。高台貼付。高台部内外面横ナデ。体部は内湾気味に立ち上がり、口縁部は僅かに外反する。	内面黒色処理
6	須恵器 高台付境	壺内 +3cm ㄥ	口(11.0) 底 6.2 高 4.8	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	ロクロ成形。高台貼付。高台部横ナデ。体部は内湾気味に立ち上がり、口縁部は僅かに外反する。	内面黒色処理
7	須恵器 高台付坏	貯蔵穴上 部-10cm ㄥ	口 16.0 底 8.0 高 6.1	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	ロクロ成形。高台貼付。高台部内外面横ナデ。	
8	灰輪陶器 高台付皿	貯蔵穴上 部-6cm ㄥ	口(14.0) 底 7.3 高 2.6	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。底部は右回転糸切り。高台貼付。施軸は横け掛け。	虎渓山1号窯式
9	灰輪陶器 長頸壺	床密着 胴下位~ 底部ㄥ	口 - 底(11.2) 高 -	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③褐色	ロクロ成形。胴部外面回転へラ削り調整。	
10	灰輪陶器 長頸壺	壺内 +3cm 底部ㄥ	口 - 底(15.5) 高 -	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。胴下部手持ちへラ削り調整。	
11	灰輪陶器 長頸壺	北東隅 床密着 口縁ㄥ	口 - 底 - 高 -	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。	
12	須恵器 羽 釜	壺右 +5cm 口縁部ㄥ	口(20.0) 底 - 高 -	①中砂粒・石英を含む。 ②酸化焰、良好 ③洗黄褐色	ロクロ使用。口縁部は内傾する。	
13	須恵器 羽 釜	貯蔵穴上 部-9cm 口縁部ㄥ	口 - 底 - 高 -	①白色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。外面叩目。口縁部は内傾する。	
14	土製品 土 鍋	床密着 完形	全長3.8 幅 1.6 重量7.9	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③灰白色	中央部に膨らみを持つ。孔径0.5cm。	

番号	器 種	出土状況 残存状況	計 測 値 (cm・g)				石 材	特 徴
			全 長	幅	厚 さ	重 量		
15	磨 石	貯蔵穴内 完形	14.5	13.2	5.3	1,368.3	ひん岩	表面の2面を磨面として使用している。

B-158号住居出土遺物観察表(第271図 P L97)

番号	土器種別 器 種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1	土 師 器 坏	床密着 %	口 12.8 底 — 高 3.7	①細砂・石英を含む。 ②酸化焰、良好 ③によい黄褐色	丸底を呈する。外縁は明瞭。口縁部内外面横ナデ。体部外面へ方削り。	
2	土 師 器 坏	南壁下 +3cm ほぼ完形	口 13.5 底 — 高 5.5	①細砂粒・石英を含む。 ②酸化焰、腐蝕 ③によい黄褐色	丸底を呈する。外縁は明瞭。口縁部はやや内傾する。口縁部内外面横ナデ。体部外面へ方削り。	

B-159号住居出土遺物観察表(第273図)

番号	土器種別 器 種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
1	土 師 器 坏	覆土 口縁一体 部%	口(14.0) 底 — 高 —	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③灰白色	底部は丸底を呈し、口縁部との境に明瞭な線を有す。口縁は短く、体部は深い。口縁部内外面横ナデ。底部はへ方削り。	
2	土 師 器 罍	+1cm 割下位へ 底部%	口 — 底 (8.0) 高 —	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	外面へ方削り。内面ナデ。	

B-160号住居出土遺物観察表(第275図 P L97・98)

番号	土器種別 器 種	出土状況 残存状況	計 測 値 (cm・g)				石 材	特 徴
			全 長	幅	厚 さ	重 量		
1	土 師 器 坏	覆土 %	口(12.2) 底 — 高 —	①極細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部内外面横ナデ。体部へ底部外面へ方削り。			
2	土 師 器 罍	床密着 口縁一部 部%	口(23.0) 底 — 高 —	①極細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③によい褐色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面へ方削り。内面へ方削り。			
3	土 製 品 丸 玉	床密着 完形	径 0.95 厚さ0.7 重量0.6	①極細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③黒褐色	土製の小玉と思われる。中央付近に0.15cm程の貫通した小円孔がある。球形でなく穴のある面が平らになる。表面は黒色処理。			
4	土 製 品 丸 玉	床密着 完形	径 0.85 厚さ0.6 重量0.4	①極細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③黒褐色	3の玉とはほぼ同じである。貫通した穴の位置は中央から大きくずれている。孔径0.15cm。表面は黒色処理。			
5	土 製 品 丸 玉	床密着 完形	径 0.9 厚さ0.6 重量0.4	①極細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③黒褐色	3の玉とはほぼ同じである。貫通した穴の位置は中央からややずれている。孔径0.2cm。表面は黒色処理。			
番号	器 種	出土状況 残存状況	計 測 値 (cm・g)				石 材	特 徴
全 長	幅	厚 さ	重 量					
6	砥 石	床密着 完形	6.9	2.0	6.2	134.5	砥石	6面すべてを使用している。全面に研削の痕跡。
7	砥 石	床密着 完形	21.0	7.2	4.2	466.3	凝灰質砂岩	表面1面のみを使用。

1 住居跡出土遺物観察表

B-163号住居出土遺物観察表(第280・281図 P L98)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量 (cm) (g)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
							計	測 値 (cm・g)
			全長	幅	厚さ	重量		
1	土 師 器 環	+10cm 口縁~底 部欠文	口(16.8) 底 — 高 4.8	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③浅黄色	底部は極めて浅く、口縁部との境に明瞭な線を 持つ。底部は丸底を呈する。口縁部は大きく外反 する。口縁部外面横ナデ後へラ磨き。底部外面はへ ラ削り後へラ磨き。内面はへラ磨き。	内面黒色処理		
2	土 師 器 環	+11cm %	口(16.0) 底 — 高 4.2	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい褐色	底部は極めて浅く、丸底を呈する。口縁部との境 に明瞭な線を持ち、口縁部は大きく外反する。口 縁部外面横ナデ後へラ磨き。底部外面はへラ削り 後へラ磨き。内面はへラ磨き。	内面黒色処理		
3	土 師 器 環	貯蔵穴内 -11cm %	口(14.2) 底 — 高 4.9	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③褐色	底部は丸底を呈する。口縁部との境に明瞭な線 を持つ。口縁部内外面横ナデ。口縁部は大きく外反 する。口縁部内外面横ナデ。底部外面へラ削り。			
4	土 師 器 環	+10cm %	口(14.0) 底 — 高 3.9	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	底部は丸底を呈する。口縁部との境に弱い線を持 つ。口縁部外面横ナデ、指頭圧痕あり。内面横ナ デ後へラ磨き。底部外面へラ削り。			
5	土 師 器 環	+4cm %	口(15.6) 底 — 高 (5.7)	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③赤褐色	底部は丸底を呈する。高部と口縁部との境に明瞭 な線を持つ。口縁部外面横ナデ、指頭圧痕あり。 底部外面へラ削り。内面横ナデ後へラ磨き。			
6	土 師 器 高 環	塚石跡 床着着 環部欠	口(18.4) 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	高部の環部。底部と口縁部との境に明瞭な線を持 つ。口縁部は大きく外反する。外面へラ磨き。内面 横ナデナ。			
7	土 師 器 小 壺	+8cm 口縁~頸 部欠	口(10.3) 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③褐色	口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面横ナデ。 頸部に指頭圧痕あり。胴部外面へラ削り、内面ナ デ。			
8	土 師 器 壺	貯蔵穴内 及び床面 %	口(13.0) 底 5.8 高(14.7)	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	最大径は胴部中央にある。口縁部は緩やかに外反 する。口縁部内外面横ナデ。胴部は下→上方向に へラ削り。			
9	土 師 器 壺	ビツ内 口縁~胴 上半欠	口(20.1) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	最大径を口縁部を持つ長頸壺。口縁部は大きく外 反。口縁部内外面横ナデ。胴部外面は下→上方向 にへラ削り。煤付着。内面横方向のへラナデ。			
10	土 師 器 壺	+7cm 口縁~胴 上半欠	口(19.8) 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい黄褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。 胴部~胴部に向かって下方へのへラ削り。胴部内 面へラナデ。	胴部外面に褐色 の付着物。		
11	土 師 器 壺	+18cm 頸~胴部 欠	口 — 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	胴部外面下→上方向にへラ削り。内面は磨面が広 げられている。			
12	土 師 器 壺	床着着 胴上位 欠	口(16.2) 底 — 高 —	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい黄褐色	口縁部は僅かに外反する。口縁部内外面横ナデ。 胴部外面下→上方向にへラ削り。内面へラナデ。			
13	土 師 器 壺	+3cm 底のみ	口 — 底 3.8 高 6.1	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	壺の底部と思われるが、丁寧に縁を欠いたあとが 観察でき転用品の可能性が考えられる。外面へラ 削り。内面はへラナデ後へラ磨き。	内面黒色処理		
14	土 師 器 壺	床着着 胴下位~ 底部欠	口 — 底 (7.3) 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③浅黄色	壺の胴部へ底部と思われる。胴部外面は上→下 に向かって縦方向のへラ削り。内面はへラナデ。底 部付近は内外面横方向のへラ削り。			
15	土 師 器 ミニチュア	床着着 底部欠	口 6.2 底 (4.7) 高 4.2	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	外面横ナデ、指頭圧痕あり。内面ナデ調整。			
18	土 製 品 紡 織 車	+31cm 宛形	径 5.5 厚さ2.2 重量 59.4	①砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③浅黄色	上面に彫り込みを持つ土製の紡織車である。下面は 平坦である。中央部に孔径0.8cm程度の貫通した円孔 がある。			
番号	器 種	出土状況 残存状況	計 測 値 (cm・g)				石 材	特 徴
			全長	幅	厚さ	重量		
16	砥 石	+6cm 宛形	12.9	7.4	4.1	510.9	砥石	1面を多く使用しており、中央部が凹状に なっている。
17	砥 石	床着着 欠	14.3	8.0	3.5	559.6	粗粒安山岩	主に片面(表面)を使用している。表面に研 磨の痕跡がみられる。

B-165号住居出土遺物観察表(第282図)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土器 坏	甕蓋土 口縁部片	口(14.9) 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	

B-167号住居出土遺物観察表(第285図 P L99)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土器 坏	+2cm 片	口(12.2) 底— 高4.2	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	底部は丸底を呈する。底部と口縁部との境に明瞭な稜を持つ。内外面黒色処理。口縁部内外面横ナデ後ヘラ磨き。底部外面はヘラ削り後ヘラ磨き。内面はヘラナデ後ヘラ磨き。	
2	土器 坏	+2cm 片	口(7.0) 底— 高6.0	①黒色紅物を含む。 ②酸化焰、軟質 ③にぶい褐色	底部は丸底を呈する。底部と口縁部との境に明瞭な稜を持つ。口縁部外面に棒状工具で沈線。内外面ともに横ナデ後ヘラ磨き。底部はヘラ削り。	底部に黒斑あり。

B-169号住居出土遺物観察表(第288・289図 P L99)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土器 坏	床密着 片	口15.7 底— 高5.2	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	底部は平底に近い丸底を呈する。体部→口縁部は直線的に外傾する。口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。体部→底部の内面は放射状ヘラ磨き。	
2	土器 坏	床密着 片	口(15.0) 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	底部は丸底を呈する。口縁部と底部の境に弱い稜がある。口縁部は内外面横ナデ。口縁→底部にかけて内面に放射状のヘラ磨き。底部外面ヘラ削り。	
3	土器 台付 甕	床密着 片	口11.5 底9.0 高13.4	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部は短く緩やかに外反する。台部に歪みが認められる。口縁部は内外面横ナデ。胴部→台部外面はヘラ削り。胴部・台部ともに内面ヘラナデ。	
4	土器 甕	床密着 片	口23.0 底5.5 高31.6	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	器内の薄い壁。最大径は口縁部にある。口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。肩部は右→左方向にヘラ削り。胴部右→左方向にヘラ削り。内面ヘラナデ。	
5	土器 甕	床密着 口縁→胴 上半	口23.6 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	器内の薄い壁。最大径は口縁部にある。口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。外面指面圧痕。肩部は右→左方向にヘラ削り。胴部左→右方向にヘラ削り。胴部内面ヘラナデ。	
6	土器 甕	床密着 口縁→胴 上半	口23.0 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	最大径を口縁部に持ち、口縁部は大きく外反する。内外面横ナデ。外面に指面圧痕。胴部右→左方向にヘラ削り。胴部外面右→左方向にヘラ削り。内面ヘラナデ。胴部に僅かなり。	
7	土器 甕	床密着 口縁→胴 上半	口30.0 底— 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	最大径を口縁部に持つ。口縁部は大きく外反し、内外面横ナデ。肩部左→右方向にヘラ削り。胴部外面右→左方向にヘラ削り。内面ヘラナデ。	
8	土器 甕	甕内 口縁部片	口(18.5) 底— 高—	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい褐色	丸胴の甕の口縁部片と思われる。口縁部は直立気味に立ち上がる。口縁部は内外面横ナデ。肩部外面ヘラ削り。内面ヘラナデ。	
9	須恵器 甕	貯蔵穴内 19cm 胴下半部	口— 底— 高—	①石英粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	大型の甕の胴部片。外面平行印目文、内面に背海波文。	

1 住居跡出土遺物観察表

B-170号住居跡出土遺物観察表(第292図 P L99)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土 師 器 坏	-2cm ほぼ完形	口 13.8 底 - 高 4.0	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③によい黄褐色	口縁部は外反する。口縁部は内外面とも丁寧な横ナデ。体部外面へう削り。体部内面に指環状痕及びへうあて痕あり。	
2	須 恵 器 壺	-6cm 口縁部片	口(14.4) 底 - 高 -	①白色細粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。口縁部横ナデ。胴部外面におき目(縦の後横)、内面青灰文。内面の口縁部と胴部の境にへうおきえ痕。	
3	土 師 器 甕	覆土 底部片	口 - 底 - 高 -	①中砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	甕の底部片と思われる。外面へう削り。	

B-171号住居跡出土遺物観察表(第294図 P L99)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土 師 器 坏	162住内 完形	口 11.9 底 8.6 高 3.8	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部外面横ナデ。体部外面へう削り。	内面は器面の荒れが著しい。
2	須 恵 器 坏	北東隅 床密着 片	口(12.0) 底 6.8 高 4.2	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③黄灰色	ロクロ成形。底部は右回転未切り。	口縁部に重み。
3	須 恵 器 坏	覆土 片	口(12.2) 底(6.8) 高 3.9	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、良好 ③灰白色	ロクロ成形。底部は右回転未切り。	

B-172号住居跡出土遺物観察表(第297図 P L100)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土 師 器 坏	+21cm 完形	口 12.6 底 - 高 4.7	①中-粗砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③褐色	底部は丸底を呈し、口縁部との境に明確な線を有す。口縁部内外面横ナデ。体部外面へう削り。	
2	土 師 器 高 坏	+31cm 坏部片～ 脚部上平	口(17.5) 底 - 高 -	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③褐色	坏部の体部と口縁部との境に明確な線を有す。口縁部外面横ナデ。体部へう削り。内面は器面の荒れが著しい。脚部外面へう削り後へう磨き。内面指ナデ。	
3	土 師 器 壺	南西隅 床密着 片	口(21.7) 底 - 高 -	①微細砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③によい褐色	丸底を呈する浅い壺と思われる。口縁部内外面横ナデ。胴部外面へう削り。内面はへうナデ。	
4	土 師 器 壺	+14cm 片	口 15.8 底 6.5 高 22.2	①粗砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、良好 ③淡黄褐色	最大径を胴部に持つ。口縁部は緩やかに外反する。口縁部は内外面横ナデ。胴部外面は底部へう削り口縁部に向かって腹方向のへう削り。内面はへうナデ。	2次的に火を受けた痕跡がある。器面荒れている。

B-173号住居跡出土遺物観察表(第266図 P L100)

番号	土器種別 器種	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須 恵 器 坏	+8cm 片	口(12.0) 底(6.7) 高 4.0	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③淡黄色	ロクロ成形。底部薄減。	
2	土 師 器 坏	+12cm 口縁部片	口(14.7) 底・高 -	①微細砂粒を含む。②酸化焰、良好③によい褐色	外面の口縁部横ナデ、体部へう削り。内面は横ナデ。	

B-175号住居出土遺物観察表(第301・302図 P L100)

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
							計	値(cm・g)
番号	器 種	出土状況 残存状況	全 長	幅	厚 さ	重 量		
1	土 師 器 高 環	床密着 片	口 16.6 底 12.0 高 14.0	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③褐色	坏部は内側し、脚部は裾部で大きく開く。坏部口縁横ナデ、坏部内面は黒色処理を施し、縦方向のヘラ磨き。坏底部～脚部の外面は丁寧なヘラ削り。脚部内面はヘラナデ、端部外面横ナデ、内面はヘラ削り。			
2	土 師 器 壺	+10cm 口縁～胴 上位片	口(12.8) 底 — 高 —	①粗粒粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	胴中央部に最大径を持つ丸胴の壺。口縁は直立して立ち上がり、端部で僅かに外傾。口縁部横ナデ。胴部～胴部外面ヘラ削り、胴部内面ヘラナデ。			
3	土 師 器 壺	甕内 +6cm 上位片	口 18.2 底 4.5 高 33.0	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部に最大径を持つ。胴部外面は底部～口縁部に向かって縦方向のヘラ削り、内面はヘラナデ。口縁部は内外面横ナデ。			
4	土 師 器 壺	甕内 床密着 口縁部欠	口(23.7) 底 5.0 高 37.5	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	口縁部に最大径を持つ長胴壺。口縁部は大きく外反する。胴部外面は底部～口縁部に向かって縦方向のヘラ削り、内面はヘラナデ。口縁部横ナデ。			
5	土 師 器 ミニチュア	甕内 +6cm 口縁部欠	口 3.7 底 2.3 高 2.6	①緻密 ②酸化焰、良好 ③褐色	手捏ねのミニチュア土器。内外面に指ナデ。			
6	砥 石	+18cm 完形	13.6	8.1	4.4	733.9	砂岩	3面が使用されており、3面に研磨の痕跡が認められる。
7	磨 石	+14cm 完形	18.2	9.3	9.0	1,957.2	粗粒安山岩	自然石をそのまま使用している。使用面は1面のみ。

B-176号住居出土遺物観察表(第304図 P L100・101)

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
番号	器 種	出土状況 残存状況	全 長	幅	厚 さ	重 量
1	土 師 器 環	+3cm 片	口(15.0) 底 — 高 3.8	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部は端部で内傾する。口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。内面は黒色処理後、ヘラ磨き。外面は赤色塗彩。	内面黒色処理
2	土 師 器 環	+15cm 片	口(11.8) 底 — 高 (4.1)	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③灰白色	口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。内面は黒色処理後丁寧なヘラ磨き。	内面黒色処理
3	土 師 器 環	覆土 片	口(17.2) 底 — 高 —	①緻密 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ磨き。内面は横ナデ後ヘラ磨き。内外面に赤色塗彩。	
4	土 師 器 環	+16cm 片	口(11.3) 底 — 高 4.1	①白色粗粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部内外面横ナデ。体部～底部外面ヘラ削り後ヘラ磨き。内面に指頭圧痕。	
5	土 師 器 環	覆土 片	口(15.6) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③灰白色	口縁部外面横ナデ。体部との境に明瞭な外縁がみられる。体部外面ヘラ削り。内面は横ナデ。	
6	土 師 器 高 環	+22cm 坏部欠	口(19.6) 底 — 高 —	①白・赤色細粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③褐色	高環の坏部。底部は浅く、口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ後ヘラ磨き。底部外面ヘラ削り。	
7	土 師 器 高 環	+10cm 脚部上半	口 — 底 — 高 —	①中～粗砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③褐色	高環の脚部。外面はヘラ磨き。内面には指頭圧痕と輪痕が認められる。	
8	土 師 器 小型 壺	+22cm 口縁部片	口(13.2) 底 — 高 —	①極粗砂粒を含む。 ②酸化焰、軟質 ③にぶい赤褐色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り。	
9	土 師 器 壺	-9cm 胴部	口 — 底 — 高 —	①中砂粒・滑母を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	丸胴の壺と思われる。胴部外面ヘラ削り、内面はナデ。	底部に黒斑ナデ。

1 住居跡出土遺物観察表

番号	土器種別	出土状況 保存状況	法量 (cm) (g)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
							計	源
番号	器 種	出土状況 保存状況	全 長	幅	厚 さ	重 量		
10	土 器 ミニチュア	床密着 一部欠	口 3.9 底 3.4 高 2.5	①緻密 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	ミニチュアの手捏ね土器。内外面指ナデ。			
11	土 製 品 丸 玉	覆土 完形	径 1.0 厚さ1.0 重量0.9	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③黒褐色	球形を呈する丸玉。中央部に径0.1cm程の貫通した小円孔あり。			
12	土 製 品 紡 錘 車	床密着	径 4.2 厚さ0.9 重 19.8	①砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	両面ともほぼ平坦。中央部に孔径0.6cm程の円孔。上下面ともヘラ削り。			
13	土 製 品	覆土 片	現高4.7 孔径4.5	①赤色粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③淡黄褐色	蹄形の土製品の上部と思われるが下部が欠損しているため、明瞭ではない。上部に貫通孔あり。			
14	磨 石	+12cm 両端欠損	16.3	10.8	4.7	1,503.3	砂岩	両面に一部磨痕が見られる。

B-177号住居出土遺物観察表(第306図 P L101)

番号	土器種別	出土状況 保存状況	法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考		
							計	源
番号	器 種	出土状況 保存状況	径	厚 さ	孔 径	重 量		
1	土 器 環	+6cm 完形	口 13.8 底 — 高 4.5	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	体部が浅く丸底を呈する。体部と口縁部の境に稜を持つ。口縁部内外面横ナデ。体部外面はヘラ削り、内面には指頭圧痕が認められる。			
2	土 器 環	覆前 床密着 完形	口 14.0 底 — 高 4.5	①細砂粒・質母を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③褐色	丸底を呈する。体部と口縁部の境に明瞭な稜を持つ。口縁部は内傾する。口縁部は内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面に指頭圧痕。			
3	土 器 環	覆前 床密着 ほぼ完形	口 13.8 底 — 高 4.5	①細砂粒を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③にぶい褐色	丸底を呈する。体部と口縁部の境に弱い稜を持つ。口縁部は内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面には指頭圧痕が観察できる。			
4	土 器 環	覆前 床密着	口(13.5) 底 — 高 3.9	①細砂粒・質母を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③褐色	丸底を呈する。体部と口縁部の境に明瞭な稜を持つ。口縁部は内外面横ナデ。底部外面ヘラ削り、内面指ナデ。			
5	土 器 環	貯蔵穴上 部—5cm 片	口(13.6) 底 — 高 4.0	①細砂粒・質母を含む。 ②酸化焰、やや堅緻 ③褐色	浅く丸底を呈する。口縁部は内傾する。口縁部と体部の境に明瞭な稜を持つ。口縁部は内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面指頭圧痕。			
6	土 器 高 環	+7cm 脚部上半	口 — 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	脚部外面ヘラ削り後ヘラ磨き。内面は上部ナデ、下部ヘラ削り。環部脚部ともに内面に黒色処理を施す。			
7	土 器 高 環	覆土 脚部片	口 — 底 — 高 —	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③にぶい褐色	外面ヘラ削り後ヘラ磨き、内面ナデ調整。			
8	土 器 壺	北壁寄り 胴下位— 底部	口 — 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	胴部外面ヘラ削り。胴部と底部の境で内面ヘラナデ。			
9	白 玉	—9cm 完形	1.1	0.9	0.3	1.3	滑石	中心部に貫通孔。側面は比較的丁寧に磨かれている。

B-180号住居出土遺物観察表(第308図 P L101)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土器 器 坏	貯蔵穴内 -6cm	口13.9 底- 高3.4	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③によい橙色	丸底を呈する浅い坏、口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り、内面横ナデ後ヘラ磨き。	

B-182号住居出土遺物観察表(第311・312図 P L101・102)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土器 器 坏	貯蔵穴内 -12cm	口13.5 底- 高5.5	①細砂粒・赤色粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	体部との境に明瞭な線をもち、底部は丸底を呈する。口縁部は内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。内面ナデ整形。内面に條付着。	体部内面に刻字あり。
2	土器 器 坏	貯蔵穴内 -3cm	口13.0 底- 高4.0	①中砂粒・雲母・黒色鉱物を含む。②酸化焰、堅緻 ③橙色	底部が浅く器内が厚い。丸底を呈するが体部との境の線は明瞭ではない。口縁部は内外面横ナデ。体部は外面ヘラ削り後ヘラ磨き。外面に黒斑あり。	
3	土器 器 坏	貯蔵穴内 -5cm	口13.3 底- 高4.7	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	体部との境に明瞭な線を持ち、底部は丸底を呈す口縁部は内外面横ナデ。体部は外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。底部外面の写に黒斑あり。	
4	土器 器 坏	甕左脇 床密着 ほぼ完形	口12.6 底- 高6.3	①細砂粒・小石を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	体部と口縁部との境に弱い線を持ち、底部は丸底を呈する。口縁部は内外面横ナデ。体部は外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
5	土器 器 坏	貯蔵穴内 -10cm	口13.2 底- 高5.2	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③橙色	体部と口縁部との境に弱い線を持ち、底部は丸底を呈する。口縁部は内外面横ナデ。体部は外面ヘラ削り。口縁部の外面に條付着。	
6	土器 器 坏	貯蔵穴内 -8cm	口12.6 底- 高4.2	①中砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	底部が浅く器内が厚い。口縁部は内外面横ナデ。体部の外面はヘラ削り。	
7	土器 器 坏	床密着 写	口11.4 底- 高3.1	①細砂粒・赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	体部との境に明瞭な線を持ち、底部は丸底を呈する。浅く、器内も薄い。口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	
8	土器 鉢	貯蔵穴内 -5cm	口11.9 底6.5 高7.1	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	器形の歪みが著しい。口縁部は内外面横ナデ。体部外面無調整、指頭圧痕あり。内面にはヘラあて痕が観察できる。底部外面はヘラ削り。	
9	土器 器 小型壺	床密着 口縁部欠	口17.6 底6.3 高13.5	①極粗砂を含む。 ②酸化焰、良好 ③によい橙色	口縁部は内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ナデ。	
10	土器 器 高坏	床密着 胴部のみ	口- 底14.8 高-	①微細砂を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	胴部外面ヘラ削り後ヘラ磨き。内面ヘラナデ。	
11	土器 器 ミニチュア	床密着 口縁部欠	口- 底(4.0) 高-	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③橙色	体部外面上半横ナデ、下半ヘラナデ、内面はナデ整形。底部外面ヘラ削り。	
12	土器 器 壺	床密着 口縁~胴 上位写	口18.4 底- 高-	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③によい橙色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
13	土器 器 壺	+16cm 口縁~底部	口17.6 底6.0 高38.0	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③によい赤褐色	口縁部は内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。口縁~胴部に火を受けた痕跡あり、一部に條付着、胴下位に黒斑あり。	

2 掘立柱建物跡出土遺物

B-2号掘立柱建物跡出土遺物観察表(第315図 P L102)

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考	
							計
番号	器 種	出土状況 残存状況	全長	幅	厚さ	重量	
1	土 師 器 坏	ビット内 覆土 片	口(13.1) 底 — 高 3.5	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部内外面横ナデ。体部外面へテ削り。		
2	土 師 器 坏	ビット内 覆土 片	口(11.8) 底 (7.8) 高 3.7	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部内外面横ナデ。体部外面へテ削り。		
3	砥 石	ビット内 一部欠	4.8	4.8	0.8	21.3	安山岩質凝灰岩 薄い板状の石の表面のみを使用している。

B-5号掘立柱建物跡出土遺物観察表(第317図)

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考	
							計
番号	器 種	出土状況 残存状況	全長	幅	厚さ	重量	
1	土 師 器 坏	覆土 片	口(13.8) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	体部は内湾する。内外面とも断面の丸れが著しい。		

3 土坑・集石出土遺物

B-24号土坑出土遺物観察表(第322図 P L102)

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考	
							計
番号	器 種	出土状況 残存状況	全長	幅	厚さ	重量	
1	弥生土器 壺形土器	底面付近 片	口(44.6) 底 9.0 高 47.2	①粗砂粒を含む。 ②良好 ③にぶい褐色	口縁部に最大径を持ち、胴部は中位で大きく膨らむ。口縁部は緩やかに外反する。口唇部に押圧文を施す。胴部外面へテ磨き、内面は柔直文か。	底部本葉直	

B-25号土坑出土遺物観察表(第322図 P L103)

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考	
							計
番号	器 種	出土状況 残存状況	全長	幅	厚さ	重量	
1	弥生土器 壺形土器	底面付近 片	口 — 底 (9.2) 高 —	①中砂粒を含む。 ②良好 ③褐色	胴部は細く、口縁部は大きく外反する。最大径は胴中位か。胴部に平行沈線2条。胴部外面はハケメ後へテ磨き。	胴上位に横圧痕がある。	

B-11号土坑出土遺物観察表(第328図 P L102)

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考	
							計
番号	器 種	出土状況 残存状況	全長	幅	厚さ	重量	
1	土 師 器 坏	+7cm 片	口 13.2 底 (9.8) 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③褐色	体部は外傾し、口縁部は直立気味に立ち上がる。口縁部内外面横ナデ。体部外面へテ削り、内面に指頭圧痕。		
2	土 師 器 坏	+5cm 片	口(13.0) 底 — 高 —	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、堅緻 ③褐色	口縁部外面横ナデ。体部外面へテ削り。内面は口縁部へテ磨きナデ後放線状へテ磨き。		

B-2・5号掘立柱建物跡出土遺物 B-24・25・11・13・20・26号土坑出土遺物

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
3	須恵器 環	覆土 底部片	口— 底(7.5) 高—	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰色	ロクロ成形。底部回転ヘラ切り。	
4	土師器 甕	底蓋着 口縁部～ 胴上位	口(21.2) 底— 高—	①粗砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	口縁部は緩やかに外反し、肩部で内傾する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面に指痕旺盛。胴部外面ヘラ削り、内面はヘラナデ。	

B-13号土坑出土遺物観察表(第328図 P L102)

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 高台付埴	底蓋着 片	口(13.9) 底(7.3) 高—	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	ロクロ成形。右回転。高台貼付。高台部横ナデ。	
2	須恵器 羽蓋	+14cm 口縁破片	口(29.5) 底— 高—	①中砂粒を含む。 ②酸化焰、軟質 ③褐色	ロクロ成形。口縁部は僅かに内傾し、肩は断面三角形を呈する。	

B-20号土坑出土遺物観察表(第328図 P L102)

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	須恵器 高台付埴	+20cm 底部破片	口— 底 7.5 高—	①微細砂粒・石英含む。 ②酸化焰、良好 ③明黄褐色	ロクロ成形。高台貼付。高台部内外面横ナデ。体部へラ磨き。	内面黒色処理
2	須恵器 高台付埴	+15cm 底部破片	口— 底 6.0 高—	①緻密 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	ロクロ成形。底部回転糸切り。高台貼付。高台部横ナデ。	
3	灰釉陶器 高台付埴	+12cm 片	口(15.4) 底 8.5 高 7.3	①緻密 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。体部は内傾する。底部は右回転糸切り。高台貼付。高台部横ナデ。釉粒は潰れ掛り。	虎渡山1号窯式

B-26号土坑出土遺物観察表(第328図 P L103)

番号	土器類別	出土状況 残存状況	法量(cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 環	+2cm 口縁欠	口(12.7) 底 8.5 高 3.5	①白色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部内外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	
2	土師器 環	+14cm 片	口(14.2) 底(9.0) 高 3.8	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	口縁部部の器内は極めて薄い。口縁部外面横ナデ。体部外面ヘラ削り。	
3	土師器 環	+13cm 片	口(12.6) 底— 高 3.9	①微細砂粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③褐色	丸底を呈し、体部は内湾気味に立ち上がる。口縁部横ナデ。体部外面ヘラ削り。	内外器面が荒れている。
4	土師器 環	+10cm 片	口(11.6) 底— 高(3.2)	①緻密 ②酸化焰、良好 ③褐色	丸底を呈し、体部は内湾気味に立ち上がる。口縁部横ナデ。体部外面ヘラ削り。	
5	土師器 小型台付 甕	+2cm 口縁～胴 部片	口(12.8) 底— 高—	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	口縁部は短く外反する。口縁部内外面横ナデ。胴部外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。	
6	土師器 小型台付 甕	+4cm 台部のみ	口— 底 9.0 高—	①赤色細粒を含む。 ②酸化焰、良好 ③明赤褐色	台部は「ハ」の字状に外開する。胴部外面ヘラ削り。台部は内外面横ナデ。	

4 グリッド出土遺物

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
7	土師器 壺	+9cm 口縁へ割 上位片	口(19.7) 底 — 高 —	①粗砂粒・雲母を含む。 ②酸化焰、良好 ③にぶい褐色	口縁部内外面横ナデ。胴部外面へ丸み。	
8	土師器 壺	+3cm 口縁へ割 上位片	口(19.8) 底 — 高 —	①粗砂粒・黒色鉱物を含む。 ②酸化焰、良好③に ぶい褐色	口縁部は大きく外反する。口縁部内外面横ナデ。 胴部外面へ丸み、内面ヘラナデ。	

B-2号集石出土遺物観察表(第330図 P L103)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	土師器 環	底密着 完形	口 11.9 底 8.0 高 4.1	①粗砂粒を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③褐色	口縁部外面横ナデ、体部外面へ丸み。内面は横 ナデ。	
2	須恵器 環	底密着 片	口(12.7) 底 7.3 高 3.7	①粗砂粒を含む。 ②還元焰、やや軟質 ③にぶい黄褐色	ロクロ成形。右回転転切り。	
3	須恵器 環	底密着 片	口(12.0) 底 (7.0) 高 3.8	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、堅緻 ③灰白色	ロクロ成形。右回転転切り。	
4	須恵器 環	底密着 片	口(11.9) 底 7.8 高 3.5	①微細砂粒を含む。 ②還元焰、軟質 ③灰白色	ロクロ成形。回転へら切り。	外面の底部付近 に褐色の付着 物。

4 グリッド出土遺物

グリッド出土遺物観察表(第331~335図 P L103~106)

番号	土器種別	出土状況 残存状況	法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成形・整形の特徴	備考
1	縄文土器 深鉢	Bc-35G 口へ胴部 片	口(27.8) 底 — 高 —	①繊維・少量の粗砂粒を 含む。 ②良好 ③暗褐色	口縁部は僅かに外反し、顕微鏡口縁を呈する。口 縁部文様帯は頸部の2条の隆起線によって分帯さ れ、上位の隆起線より発生する隆起線が斜位に伸 びる。おそらく文様帯内を大型彫削状区画するの であろう。区画内の空白部に磨伏貼付充塞。頸部 下位隆起線下端に磨伏貼付文が横位に付され、さ らに貼付文下位には半環状の平行沈線が4条紛 う。この平行沈線は頸部の区画帯及び口縁部区画 隆起線にも側線として施される。外面は、0段3 条〜多量のR L縄文が施され、羽状構成をとら ない。縄文は、顕微鏡口縁の押圧にも使用され、一 部隆起線上にまでも施されている。	関山1 終末〜II 式初頭
2	縄文土器 鉢型土器	Bb-27G 口縁部片	口 — 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②良好 ③にぶい褐色	内文を有する鉢型土器の口縁下の小破片。平行沈 線下に逆「の」の字状のモチーフを配す。	加賀利 B 1 式
3	弥生土器 小型壺	At-17G 胴部片	口 — 底 — 高 —	①石英・黒色鉱物・白色 ②良好 ③黄褐色	弥生中期の小型壺の胴部片と思われる。上部に2 個の円孔あり。肩部に沈線1条。	
4	弥生土器 壺	Bc-24G 胴部片	口 — 底 — 高 —	①粗砂粒を含む。 ②良好 ③にぶい黄褐色	弥生中期の壺の胴部片と思われる。	
5	弥生土器 壺	Ba-14G 口縁部片	口 — 底 — 高 —	①赤色粒・粗砂粒を含む。 ②良好 ③褐色	口唇部に押圧文。	

4 グリッド出土遺物

番号	器 種	出土状況 保存状況	計 測 値(cm・g)				石 材	特 徴
			全 長	幅	厚 さ	重 量		
24	石 製 品 白 玉	Bo-26G 完形	1.3	0.3	0.6	1.8	滑石	側面は丁寧に磨かれている。中央に穿孔。
25	打製石鏃	表採 ほぼ完形	1.7	1.2	0.4	0.5	黒曜石	入念な調整が全面に及ぶ。先端を僅かに欠く。基部の挟りは逆U字形を呈する。
26	打製石鏃	81住覆土 完形	1.6	1.3	0.5	0.6	チャート	入念な調整が全面に及ぶ。基部の挟りは逆U字形。
27	打製石鏃	Ba-19G ほぼ完形	2.3	1.8	0.5	1.2	チャート	入念な調整が全面に及ぶ。基部の挟りは逆U字形。先端部を僅かに欠く。
28	打製石鏃	134住覆土 完形	2.7	1.9	0.4	2.0	チャート	入念な調整が全面に及ぶ。基部の挟りはない。
29	打製石鏃	144住覆土 片	2.3	1.4	0.3	0.5	黒曜石	入念な調整が全面に及ぶ。基部の挟りは逆U字形を呈する。
30	石 鏃	92住覆土 完形	3.0	1.7	0.8	2.7	チャート	先端部にたいへん丁寧な調整が加えられている。
31	石 鏃	172住覆土 一部欠	3.5	1.5	0.4	2.6	黒曜石	縦長の剣片を素材としている。小型の縦型石鏃と思われる。
32	剣片石鏃	151住覆土 一部欠	2.8	1.6	0.7	2.3	黒曜石	先端部を欠く。
33	石 鏃	53住No.22 完形	6.8	6.8	2.2	67.3	黄褐色珪質岩	縁辺にたいへん丁寧な調整が加えられる。
34	打製石斧	48住覆土 完形	10.2	6.9	2.3	183.5	硬質泥岩	中央部両側に挟りに入る分割型。刃部近くで使用痕と思われる摩耗が見られる。
35	石 鏃	140住覆土 完形	19.7	6.4	3.4	548.8	緑色片岩	バチ型でやや大型の石鏃。
36	磨 石	Bj-31G 完形	13.6	4.3	3.5	292.6	流紋岩	表面2面に磨面あり。
37	石皿状の 石 製 品	表採 完形	9.1	8.4	3.1	276.4	紙沢石	表面に凹状のくぼみをつけて使用。表面のほぼ全面に褐色の付着物が見られる。
38	砥 石	At-17G 完形	7.1	5.5	2.7	154.7	紙沢石	4面を使用。2面は特に多く使用されており凹状のくぼみが見られる。
39	砥 石	Bq-28G 片	10.7	4.6	3.4	202.4	砂岩	表面と2側面の3面を使用。
40	砥 石	Be-28G 完形	36.1	29.0	2.8	3,200.0	砂岩	板状の砂岩をそのまま使用している。表面の2面を使用している。
41	砥 石	At-17G ほぼ完形	37.8	21.6	3.8	3,939.0	砂岩	板状の砂岩の主に表面を使用している。
42	板 碑	74住上層 ほぼ完形	58.7	18.8	3.1	6,300.0	黒色片岩	上部に梵字。

群馬県埋蔵文化財調査事業団
調査報告 第 166 号

南蛇井増光寺遺跡Ⅲ

(観察表編)

開越自動車道(上越線)地域埋蔵
文化財発掘調査報告書第22集

平成 6 年 3 月 20 日 印刷

平成 6 年 3 月 25 日 発行

編集・発行/群馬県埋蔵文化財調査事業団
勢多郡北構村大字下箱田784-2
電話 (0279) 52-2511(代表)

印刷/朝日印刷工業株式会社



矢田遺跡遺構分布図(1/1000) 平成7年9月

付図 南蛇井増光寺遺跡B区 全体図

